



令和3年度当初予算のポイント

新型コロナウイルス感染症対策を継続しつつ、DX推進や地方創生に取り組み
「日本一輝いているまち」を目指します



新型コロナウイルス危機を乗り越え復活する
「不死鳥“燕”」

新潟県燕市

目次

1. 予算編成の「基本方針」、予算の「規模」	3
2. 令和3年度当初予算の「ポイント」	4
3. 令和3年度当初予算の「重点施策」と「新規・拡充事業」	5
【重点施策①】フェニックス11+の継続で乗り切るウイズコロナ	6
【重点施策②】アフターコロナを見据えた地域社会のDX推進	7
【重点施策③】「ピンチをチャンスに」新たな地方創生で地域活性化	8
4. 一般会計「歳入予算」の概要	9
5. 一般会計「歳出予算」の概要	15
6. 一般会計「基金」の状況	18
7. 一般会計「市債」・「債務負担行為」の状況	19
8. 第2次燕市総合計画を基本とした戦略体系に基づく主要事業	20
〔戦略1〕定住人口増戦略	27
〔戦略2〕活動人口増戦略	39
〔戦略3〕交流・応援(燕)人口増戦略	44
〔戦略4〕人口増戦略を支える都市環境の整備	46
〔戦略5〕持続可能な行財政運営の推進	53

【基本方針】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大という前例のない事態に直面する中、令和2年度は子どもたちが帰って来られる「ふるさと燕」を守るため、フェニックス11+を中心とした新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を矢継ぎ早に編成し、全国に先駆けて開始した事業などを含め、市民生活や地域経済を支える様々な取組を実施してきました。

感染症収束が見通せない中、本市の財政状況は、歳入においては感染症の影響による個人消費の落ち込みや企業活動の停滞などから、自主財源の根幹をなす法人市民税や個人市民税の複数年にわたる大幅な減収が見込まれます。また、歳出においては感染症の影響に伴う対策経費やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進などの新たな行政需要が見込まれています。さらに、普通交付税の一本算定への完全移行による縮減に加え、公共施設の老朽化対策、社会保障関連経費や公債費の増など、従前からの財政負担の増加要因が相まって、さらに厳しさが増えています。

令和3年度の当初予算は、こうした極めて厳しい状況に直面している中であるからこそ、難局を変革の機会と前向きに捉え、第2次総合計画に掲げる「3つの人口増戦略」を柱に、①「フェニックス11+の継続で乗り切るウィズコロナ」、②「アフターコロナを見据えた地域社会のDX推進」、③「『ピンチをチャンスに』新たな地方創生で地域活性化」の3つの重点施策を積極的に展開することで、引き続き「日本一輝いているまち・燕市」の実現を目指します。

【予算規模】

令和3年度の一般会計当初予算の総額は、399億7,900万円です。借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は354億9,525万円、経済対策等国の補正予算による繰越事業9億6,897万円を合わせた執行ベースの予算額は364億6,422万円であり、ともに直近5年間で最も大きい予算規模となっています。なお、執行ベースのうち新型コロナウイルス感染症の対策経費は、15億6,428万円となっています。また、特別会計の総額は、167億7,307万円です。一般会計と特別会計の総額は567億5,207万円です。一般会計の借換債を除く実質的な予算規模は、522億6,832万円となっています。

会計名	予算額	対前年度増減額	前年度比
一般会計	399億7,900万円 (354億9,525万円)	▲2億7,700万円 (12億1,930万円)	▲0.7% (3.6%)
特別会計	国民健康保険	▲2億1,366万円	▲3.0%
	後期高齢者医療	981万円	1.0%
	介護保険事業	▲4,717万円	▲0.5%
	土地取得	—	0.0%
合計	567億5,207万円 (522億6,832万円)	▲5億2,803万円 (9億6,828万円)	▲0.9% (1.9%)

国補正予算(繰越事業)と合わせた執行ベースの一般会計
予算比較 (16億8,800万円、4.9%)

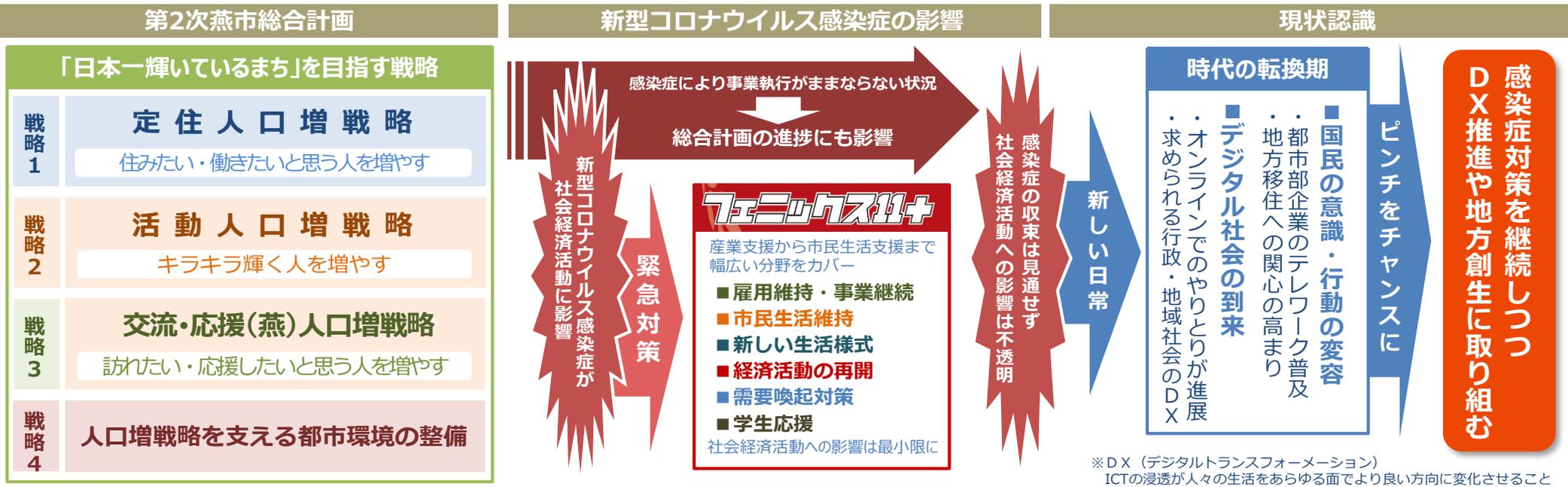
年度	(実質的規模)	(国補正予算)	(合計)
令和2	342億7,595万円	5億 27万円	347億7,622万円
令和3	354億9,525万円	9億6,897万円	364億6,422万円

※()は借換債を除いた実質的な予算額等です。

※ 端数調整のため合計額と一致しない場合があります。(次ページ以降において同じ)

令和2年度は、第2次燕市総合計画に基づき、3つの人口増戦略の充実を重点に予算編成しましたが、新型コロナウイルス感染症により社会経済活動が制限されたことなどから、当初の事業計画の実施がままならず総合計画の進捗にも大きな影響が生じました。一方で、感染症を契機とした社会のデジタル化の加速や新たな働き方、地方移住への関心の高まり等、ピンチをチャンスに変える好機ともなっています。

未だ感染症の収束は見通せない状況の中、これまでも幾多の困難を乗り越えてきたように、今回も「不死鳥のごとく乗り越える、復活する」という強い決意のもと、令和3年度当初予算は、ウィズコロナそしてアフターコロナを念頭に置いて、「3つの人口増戦略」を柱に『①感染症対策の継続』『②地域社会のDX推進』『③新たな地方創生の推進』を重点に編成しました。



令和3年度の
テーマ

新型コロナウイルス危機を乗り越え復活する「不死鳥“燕”」

※ 燕市はこれまでも幾多の経済危機（オイルショック、円高、リーマンショック）を乗り越え、その度に復活してきたことから「不死鳥“燕”」と呼ばれています。

予算編成の
ポイント

ポイント
①

産業支援から市民生活支援まで
ウィズコロナの感染症対策を継続

ポイント
②

アフターコロナを見据えた
地域社会のDX推進

ポイント
③

ピンチをチャンスに変える
新たな地方創生の推進

令和3年度当初予算の「重点施策」と「新規・拡充事業」

-5-

ウィズコロナそしてアフターコロナを念頭に置いて、感染症対策を継続しつつ、時代の変化を捉えたDX推進、地方創生に取り組む3つの重点施策『フェニックス11+の継続で乗り切るウィズコロナ』『アフターコロナを見据えた地域社会のDX推進』『「ピンチをチャンスに」新たな地方創生で地域活性化』を展開し「日本一輝いているまち」の実現を目指します。

1 定住人口増戦略

住みたい・働きたいと思う人を増やす

重点施策①

フェニックス11+の継続で乗り切るウィズコロナ

【新規:8、拡充:4】

重点施策②

アフターコロナを見据えた地域社会のDX推進

【新規:12、拡充:1】

重点施策③

「ピンチをチャンスに」新たな地方創生で地域活性化

【新規:7、拡充:3】

(1) 雇用・就労を支える産業の振興

- 《新》 伴走型支援事業
- 《拡》 小売商業活性化事業
- 《新》 踏み出せ！農業！スタートアップ事業

(2) 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

- 《拡》 地域に根ざす学校応援団事業
- 《新》 発達支援コーディネーター育成事業

(3) 健やかな暮らしを支える医療福祉の充実

- 《新》 看護職員修学資金貸付事業

(4) 移住・定住の促進

- 《拡》 移住家族支援事業

【新規:22、拡充:16】

2 活動人口増戦略

キラキラ輝く人を増やす

(1) 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

- 《新》 ワンコインがん検診の開始
- 《新》 分水総合体育館改修事業
- 《新》 吉田公民館改修事業

(2) 支え合い・助け合い活動の活発化

- 《拡》 成年後見人申立費用助成金
- 《継》 子どもの居場所づくり支援事業

(3) 若者・女性の力を活かしたまちづくり

- 《拡》 つばめ若者会議事業
- 《拡》 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業

【新規:8、拡充:7】

3 交流・応援(燕)人口増戦略

訪れたい・応援したいと思う人を増やす

(1) 観光の振興

- 《拡》 産業史料館受入体制の整備
- 《新》 教育旅行エージェント向けプロモーション
- 《継》 広域連携観光プロモーション事業
- 《継》 つばめ産業観光推進事業
- 《継》 産業観光受入体制整備事業

(2) 燕市のファンづくり

- 《拡》 ふるさと燕応援事業
- 《拡》 シティプロモーション事業
- 《継》 燕ファンづくり推進事業

【新規:2、拡充:3】

4 人口増戦略を支える都市環境の整備

【新規:10、
拡充:5、
臨時:5】

(1) 安全・安心機能の向上

- 《新》 避難所感染症対策事業
- 《新》 新最終処分場建設計画策定事業

(2) 快適な都市機能の向上

- 《新》 中心市街地再生モデル事業
- 《新》 燕市交通公園サイクルルール改修事業

5 持続可能な行財政運営の推進

- 《継》 建物系公共施設保有量適正化事業 【新規:4、拡充:2、臨時:1】
- 《新》 燕北小学校駐車場整備事業
- 《臨》 道の駅「国上」関連施設の指定管理者選定方法の見直し検討

【重点施策①】フェニックス11+の継続で乗り切るウィズコロナ -6-

新型コロナウイルス感染症が未だ収束の見通しが立っていない状況であり、今後の地域社会経済への影響も不透明であることから、市民生活支援から産業支援まで必要な対策を継続して実施することで、感染症対策と社会経済活動の両立を図ります。

感染拡大防止対策

PCR検査の実施による感染拡大防止

市民向けPCR検査費用助成事業 **新** (P.35)

実習生応援PCR検査費用助成事業 **新** (P.31)

介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業 **新** (P.35)

市内企業感染症リスク管理支援事業 **新** (P.27)

県外との往来が必要な人や、介護に携わる人に対し、PCR検査の費用を助成します。



新型コロナウイルスワクチン接種事業 **新** (P.35)



小学校感染症対策施設改修等事業 **新** (P.32)

中学校感染症対策施設改修等事業 **新** (P.32)

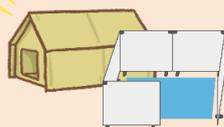
※R2年度からの繰り越し事業

小・中学校のトイレの乾式化・洋式化を実施します。



避難所感染症対策事業 **新** (P.46)

災害時の避難所における感染症への対策を行います。



産業支援と需要喚起

新商品新技术開発支援事業 **拡** (P.28)

感染症の課題解決につながる商品の開発費用を助成します。



中小企業信用保証支援事業 (P.27)

企業が特別融資を受ける際の保証料を補給します。



建設工事費の確保 **拡** (P.40 ほか)

老朽化した分水総合体育館、スポーツパーク、市民武道館等を改修します。



	R3総額	R2比較
建物系事業費	14億9,262万円	+3億2,064万円

住宅リフォーム助成事業 **拡** (P.49)



つばめ食べて応援キャンペーン **拡** (P.30)

市内農産物の消費活性化を目的とした事業を実施します。



【重点施策②】アフターコロナを見据えた地域社会のDX推進 -7-

アフターコロナのデジタル社会を見据え、オンライン相談やオンライン申請など市民サービスのデジタル化や、企業のオンライン環境整備への支援など、地域社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。

市民サービスのデジタル化

オンライン相談の拡大

相談者の利便性向上を図り、対面による接触も削減します。

オンライン子育て相談 **新** (P.34)

オンライン離乳食グループ相談会 **新** (P.34)

オンライン空き家相談 **新** (P.49)

オンライン移住相談 (P.38)



市政情報のデジタル発信強化

多様な媒体を活用し、市政情報を市民に届けます。

公式LINEの機能強化 **拡** (P.53)

リニューアルした
公式ウェブサイトによる情報発信 **新** (P.45)

子育てアプリ事業 (P.34)



オンライン予約システムの導入

オンラインで健康診査などの予約ができるようになります。

健康診査等予約システムの導入 **新** (P.39)

コンビニ交付サービスの導入

令和4年度を目途に全国のコンビニで各種証明書が受け取れるよう、サービス導入の準備を進めます。



コンビニ交付サービスの導入準備 **新** (P.53)

市税納入のキャッシュレス決済導入

市税がスマホ決済アプリで支払えるようになります。

キャッシュレス決済の導入 **新** (P.53)



汎用的電子システム導入

オンラインで申請ができる事業を拡大します。

オンライン申請の推進 **新** (P.53)

その他、市民サービスのデジタル化

電子図書館サービスの運用 **新** (P.41)

オンライン職員採用試験の実施 **新** (P.53)

企業のDX推進

ビジネススタイルの転換

デジタル技術を活用した販路拡大のための取組を支援します。

中小企業DX推進支援事業 **新** (P.28)



ECサイト販路開拓
応援補助金 **新** (P.30)



生産現場のIT化

IoT推進事業 (P.28)

【重点施策③】「ピンチをチャンスに」新たな地方創生で地域活性化 -8-

感染症を契機とした企業のオフィス分散、地方移住意識の高まりを捉え、企業の生産拠点の誘致と個人・企業のテレワーク拠点整備を推進するとともに、まちなかの賑わい創出、人を惹きつける魅力づくりに取り組むなど、新たな地方創生で地域活性化を図ります。

新たなイノベーション創出・移住定住促進

イノベーション拠点整備支援事業 **新** (P.29)

首都圏企業がテレワークできるシェアオフィス等の開設を支援し、イノベーションの創出を促進します。



つばめ移住・定住促進事業 **拡** (P.38)

テレワーカーの移住に伴う経済的負担を軽減する助成制度を創設します。

移住・就業等支援事業補助金 **拡** 移住者住宅支援事業補助金 **拡** テレワーカー交通費補助金 **新**



新たな空き家対策・まちなか活性化

中心市街地再生モデル事業 **新** (P.49)

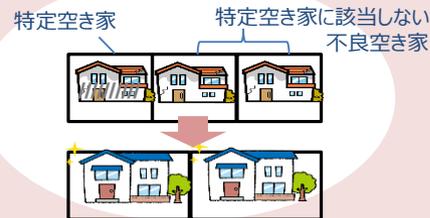
官民連携した中心市街地再生制度を新設します。



空き家解体を伴った中心市街地の再生プランを募集

空き家跡地活用促進補助事業 **新** (P.49)

一体的活用を条件に解体費を補助します。



新たな企業誘致・産業の活性化

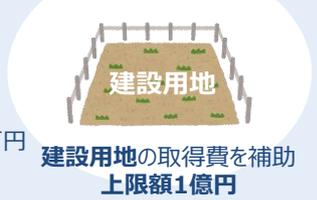
企業立地活性化事業 **拡** (P.27)

生産拠点の分散等に対応し、5億円以上の大規模な工場建設等設備投資への補助制度を新設します。

生産拠点整備補助金 **新**



企業立地促進補助金



園芸作物産地化推進事業 **新** (P.30)

園芸作物の産地化を目指します。



輸出用米栽培補助金 **拡** (P.30)

農業者の所得向上を目指します。



人を惹きつける新たな魅力づくり

情報社会の必須スキル (P.31) 「読解力」育成プロジェクト **新**

学力向上や学ぶ意欲の土台となる「読解力」を育成します。



全天候型子ども遊戯施設整備事業 **新** (P.33)

体を使って遊ぶことができる遊戯施設整備の検討を始めます。



大河津分水通水100周年プレ事業 **新** (P.45)

100周年に向けイベントを実施します。



【概要】

歳入の総額は399億7,900万円ですが、借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は354億9,525万円です。実質的な予算額は、令和2年度と比較して3.6%（12億1,930万円）の増となっています。

歳入全体では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う市税や地方消費税交付金等の減を地方特例交付金、普通交付税及び臨時財政対策債の増が補う構成となっています。また、新型コロナウイルスワクチン接種やテレワーク推進などに伴う国庫支出金が増となっているほか、感染症対策経費の財源としてふるさと燕応援基金からの繰入金が増となっています。

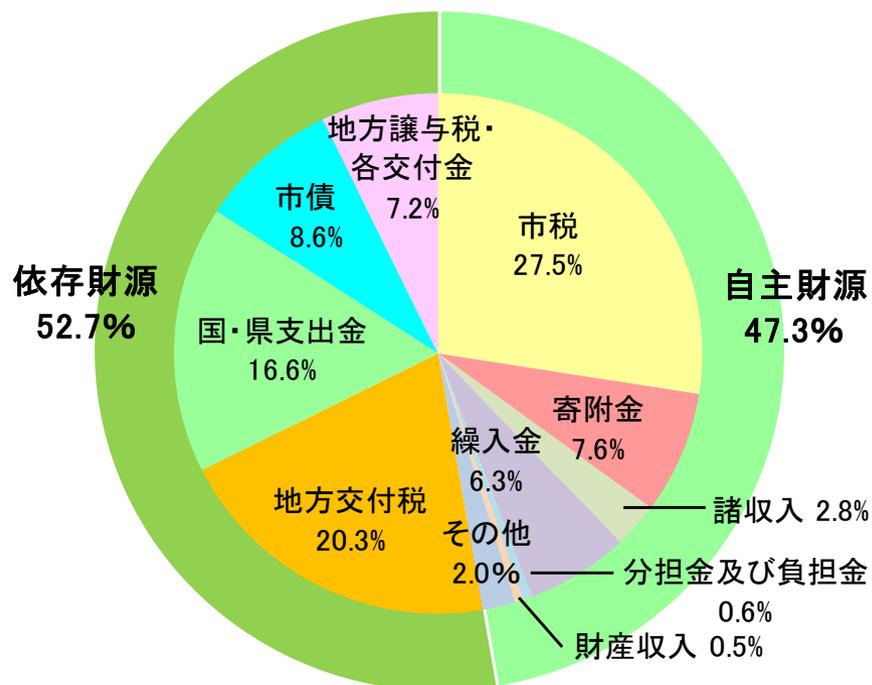
なお、ふるさと燕応援寄附金については、寄附金から返礼品等の諸経費を除いた差額分をあらかじめ予算化せず、諸経費と同額の歳入予算のみを計上することで、ふるさと納税を財源の前提としない予算編成としています。

主な増減内容は次ページ以降のとおりです。

■ 令和3年度 歳入(収入)の内訳

区 分		予 算 額	対前年度増減額	前年度比
自主財源	市 税	97億5,577万円	▲7億1,210万円	▲6.8%
	寄 附 金	27億 1万円	—	0.0%
	諸 収 入	9億8,263万円	▲1,378万円	▲1.4%
	繰 入 金	22億2,692万円	12億7,121万円	133.0%
	分担金及び負担金	2億3,145万円	▲466万円	▲2.0%
	財産収入	1億9,340万円	▲4億9,738万円	▲72.0%
	そ の 他	6億9,520万円	▲1,461万円	▲2.1%
依存財源	市 債	75億3,485万円 (30億5,110万円)	▲9億2,270万円 (5億7,360万円)	▲10.9% 23.2%
	地方交付税	72億円	3億円	4.3%
	国・県支出金	59億1,616万円	5億4,075万円	10.1%
	そ の 他	25億4,262万円	▲2億2,374万円	▲8.1%
合 計	399億7,900万円 (354億9,525万円)	▲2億7,700万円 (12億1,930万円)	▲0.7% 3.6%	

■ 「実質的な予算額」の財源割合



一般会計「歳入予算」の主な内容（自主財源①）

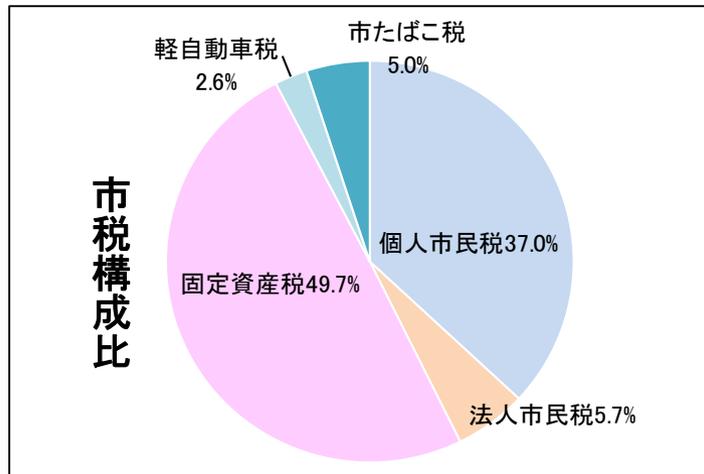
市税 97億5,577万円 前年度比7億1,210万円（6.8%）減

【主な増減理由】

- ・ 個人市民税⇒感染症の影響に伴う給与所得等の減少による減
- ・ 法人市民税⇒感染症に加え法人割の税率引き下げの影響による減

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
市民税	41億6,433万円	▲3億5,824万円	▲7.9%
個人市民税	36億 489万円	▲6,209万円	▲1.7%
法人市民税	5億5,944万円	▲2億9,615万円	▲34.6%
固定資産税	48億4,740万円	▲3億2,427万円	▲6.3%
軽自動車税	2億5,322万円	▲1,394万円	▲5.2%
市たばこ税	4億9,082万円	▲1,565万円	▲3.1%
合計	97億5,577万円	▲7億1,210万円	▲6.8%

・ 固定資産税⇒国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施される軽減措置に伴う減（前年対比売上30%以上減の事業所を対象に償却資産と事業用家屋の1/2又は全額を減免）



寄附金 27億1万円 前年度比－（0.0%）

【主な増減理由】

- ・ ふるさと燕応援寄附金
ふるさと納税を財源の前提としない予算編成とするため、寄附金から返礼品等の諸経費を除いた差額分をあらかじめ予算化せず、年間15億円の寄附見込額に対して必要となる諸経費と同額の歳入予算のみを計上します。
⇒歳出予算と同額の予算額7億円（前年度比5億円減）

※寄附の受入れ額が確定した段階で、差額の歳入予算を令和3年度補正予算に計上し、財政調整基金に一旦積み立てた後、令和4年度以降の新規・重点事業等の財源として活用するため、充当事業を明確にした上で基金から繰入れさせていただく予定です。

- ・ 自治体クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金
歳入歳出同額計上のため、実績を勘案し増額します。
⇒予算額20億円（前年度比5億円増）

ふるさと燕応援寄附金

▶3つの人口増戦略に基づく主要事業の財源として活用

自治体クラウドファンディング

▶特定の事業の実施や事業の実現に向けた財源として活用

民間クラウドファンディング

▶市内の企業・団体等が市の事業認定を受けて行う事業について寄附を募り、資金面での支援を実施

※民間クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金については事業認定の申請に基づき予算計上します。

財産収入 1億9,340万円 前年度比4億9,738万円（72.0%）減

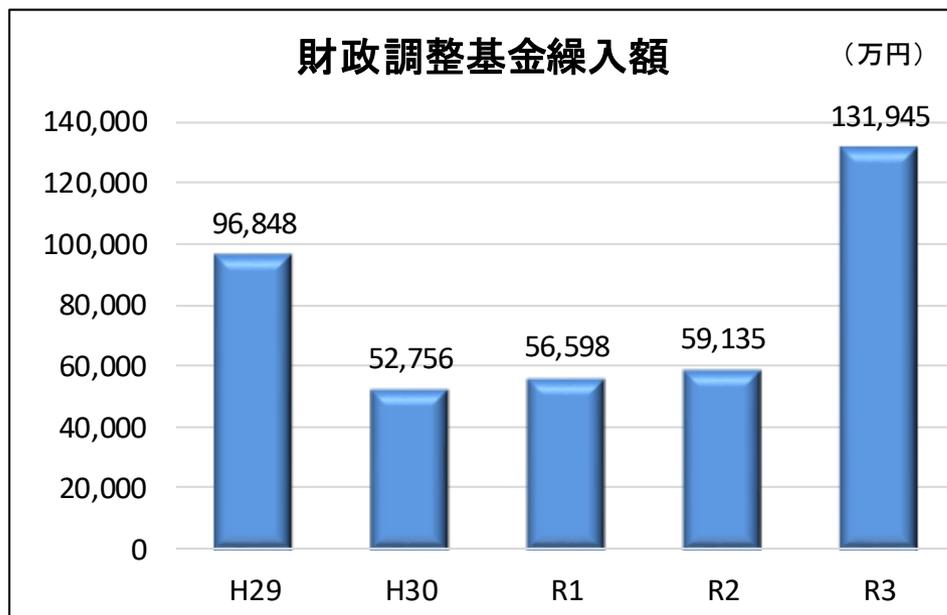
【主な増減理由】

- ・ 物流センター地内産業用地の売払収入1億4,023万円の皆増
- ・ 小関産業団地の土地売払収入6億2,769万円の皆減

繰入金 22億2,692万円 前年度比12億7,121万円（133.0%）増

【主な増減理由】

- ・ ふるさと納税を財源の前提としない予算編成とするため、ふるさと燕応援事業に係る予算を歳入歳出同額計上としたこと等に伴う財政調整基金繰入金 7億2,809万円の増
- ・ ガス事業譲渡清算金活用基金繰入金 1億2,070万円の皆減
- ・ 感染症対策経費等への繰入に伴うふるさと燕応援基金繰入金6億4,905万円の増



区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
財政調整基金	13億1,945万円	7億2,809万円	123.1%
ふるさと燕応援基金	7億7,857万円	6億4,905万円	501.1%
ガス事業譲渡清算金活用基金	—	▲1億2,070万円	皆減
環境整備基金	61万円	1万円	1.8%
森林環境保全基金	561万円	230万円	69.7%
仲治奨学基金	7,302万円	1,110万円	17.9%
子ども夢基金	4,767万円	135万円	2.9%
入学準備金貸付基金	200万円	—	0.0%
合計	22億2,692万円	12億7,121万円	133.0%

■ふるさと燕応援基金の充当事業について

① **小学校等のエアコン整備事業償還費** ……令和元年度に完了した小学校の普通教室、幼稚園及び保育園の保育室等のエアコン整備事業に係る市債の償還金にふるさと燕応援基金を充当します。（百万円単位に丸めて表示）

R2末まで積立総額	R2末まで充当総額	R3充当予定額	R4以降充当見込み額	活用可能額（残）
2億7,200万円	3,800万円	3,600万円	1億9,800万円	0

② **スポーツ施設の改修等** ……緊急性の高い改修工事や備品購入等に係る費用のうち、事業の一般財源負担分（市債の後年度償還金を含む。）にふるさと燕応援基金を充当し、有効に活用します。（百万円単位に丸めて表示）

R2末まで積立総額	R2末まで充当総額	R3充当予定額	R4以降充当見込み額	活用可能額（残）
17億1,600万円	8,800万円	2億5,100万円	4億4,800万円	9億2,900万円

● **令和3年度当初予算の充当事業 【充当額合計】 2億5,100万円**

- ・スポーツパークテニスコート改修事業
- ・スポーツランド燕改修事業（照明器具改修）
- ・学校開放ナイター設備改修事業
- ・開放施設管理費（燕北小及び燕西小学校防球ネット工事）
- ・小中川小学校グラウンドバックネット等整備事業

● **令和3年度当初予算に計上した後年度市債償還費充当予定事業 【総事業費】 7億8,000万円**

- ・小学校屋内運動場照明器具改修事業
- ・中学校屋内運動場照明器具改修事業
- ・分水総合体育館改修事業
- ・燕市民武道館改修事業

● **令和3年度当初予算計上以外の充当予定事業**

- ・吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修事業 など

③ **新型コロナウイルス感染症対策事業** ……燕市独自の新型コロナウイルス感染症対策事業の一般財源負担分（市債の後年度償還金を含む。）にふるさと燕応援基金を充当し、有効に活用します。（百万円単位に丸めて表示）

R2末まで積立総額	R2末まで充当総額	R3充当予定額	R4以降充当見込み額	活用可能額（残）
12億6,500万円	4億9,000万円	4億9,100万円 (1億3,100万円)	2億2,600万円	5,800万円 (4億1,800万円)

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金3次配分 約3億6,000万円を令和3年度補正予算に計上し、令和3年度の感染症対策事業に充当することで財源更正する予定です。カッコ内の金額は財源更正後の見込み額を表しています。

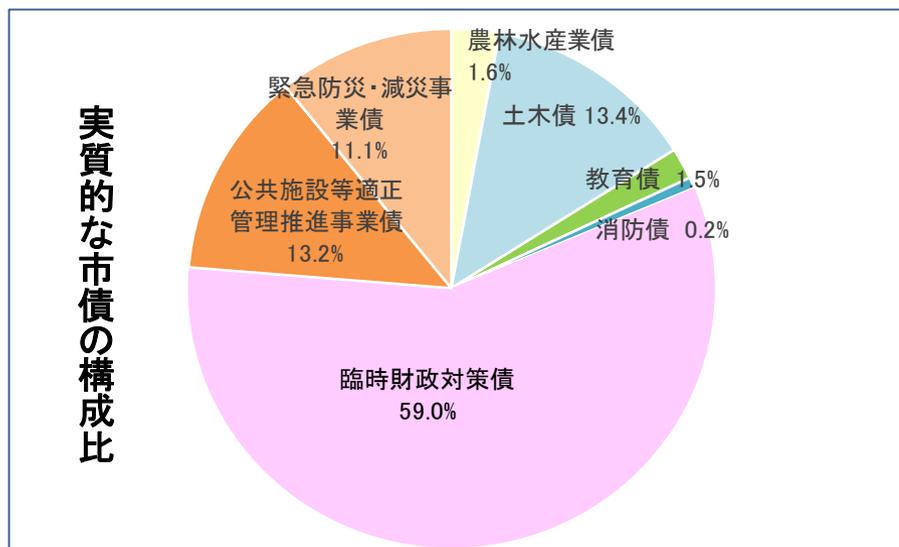
● **令和3年度当初予算の充当事業 【総事業費】 9億4,800万円 【充当額合計】 4億9,100万円（一般財源分）**

- ・各種PCR検査助成制度
- ・イノベーション拠点整備事業
- ・中小企業DX推進支援事業
- ・新商品新技術開発支援事業
- ・農産物販路拡大推進事業
- ・ICT教育推進事業 など

市債 75億3,485万円 前年度比9億2,270万円（10.9%）減

【主な増減理由】

- ・ 合併特例債 7億3,820万円の皆減
（粟生津保育園大規模改修事業の皆減 等）
- ・ 公共施設等適正管理推進事業債 3億4,480万円の増（※）
- ・ 緊急防災・減災事業債 2億7,900万円の増（※）
（※はともに分水総合体育館改修事業の皆増 等）



- ・ 臨時財政対策債 7億円の増（令和3年度地方財政計画に基づく増）
- ・ 借換債 14億9,630万円減
（借換債を除く実質的な市債は5億7,360万円（23.2%）の増）

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
農林水産業債	5,030万円	1,170万円	30.3%
土木債	4億1,000万円	▲390万円	▲0.9%
教育債	4,640万円	1,900万円	69.3%
消防債	330万円	▲40万円	▲10.8%
臨時財政対策債	18億円	7億円	63.6%
合併特例債	—	▲7億3,820万円	皆減
県地域づくり資金地域振興事業債	—	▲3,840万円	皆減
借換債	44億8,375万円	▲14億9,630万円	▲25.0%
公共施設等適正管理推進事業債	4億250万円	3億4,480万円	597.6%
緊急防災・減災事業債	3億3,860万円	2億7,900万円	468.1%
合計	75億3,485万円	▲9億2,270万円	▲10.9%

地方交付税 72億円 前年度比3億円（4.3%）増

【主な増減理由】

- ・ 普通交付税は合併一本算定への完全移行により縮減となるものの、国の令和3年度地方財政計画の見通しや基準財政需要額の算入額の見込み等から、臨時財政対策債と合わせて実質的に10億円の増
- ・ 特別交付税は大きな増減要因がないため令和2年度と同額

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
実質的な普通交付税	80億円	10億円	14.3%
普通交付税	62億円	3億円	5.1%
臨時財政対策債	18億円	7億円	63.6%
特別交付税	10億円	—	0.0%
合計	90億円	10億円	12.5%

国庫支出金 36億4,148万円 前年度比4億5万円（12.3%）増

【主な増減理由】

- ・ 社会資本整備総合交付金（土木課所管分）2,925万円の減
（国の補正予算の活用に伴う令和2年度補正予算への計上分
1億4,985万円）
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費国庫負担金
2億7,226万円の皆増
- ・ 地方創生テレワーク交付金8,315万円の皆増

県支出金 22億7,468万円 前年度比1億4,071万円（6.6%）増

【主な増減理由】

- ・ 国勢調査交付金 2,723万円の皆減
- ・ 放課後児童健全育成事業費等補助金 2,911万円の増
- ・ 地域子ども・子育て支援事業費補助金2,002万円の増
- ・ 衆議院議員総選挙費交付金 3,322万円の皆増

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
国庫支出金	36億4,148万円	4億 5万円	12.3%
国庫負担金	29億7,184万円	3億3,091万円	12.5%
国庫補助金	6億5,183万円	7,009万円	12.0%
委託金	1,781万円	▲96万円	▲5.1%
県支出金	22億7,468万円	1億4,071万円	6.6%
県負担金	11億7,984万円	1,766万円	1.5%
県補助金	9億 298万円	1億1,633万円	14.8%
委託金	1億8,187万円	671万円	3.8%
県貸付金	1,000万円	—	0.0%

地方譲与税、各種交付金 25億4,262万円

前年度比2億2,374万円（8.1%）減

【主な増減理由】

- ・ 地方財政計画等による影響額を踏まえた増減
 - ⇒ 地方譲与税のうち自動車重量譲与税 3,000万円の減
 - ⇒ 法人事業税交付金 6,536万円の減
 - ⇒ 地方消費税交付金 3億円の減
 - ⇒ 環境性能割交付金 3,100万円の減
 - ⇒ 地方特例交付金のうち新型コロナウイルス感染症対策
地方税減収補填特別交付金（※） 1億9,740万円の皆増
- （※国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施される
固定資産税の軽減措置に伴う減収額を全額国費で補てんするもの）

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
地方譲与税	3億2,400万円	▲3,900万円	▲10.7%
利子割交付金	500万円	—	0.0%
配当割交付金	3,100万円	—	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1,400万円	—	0.0%
法人事業税交付金	5,100万円	▲6,536万円	▲56.2%
地方消費税交付金	18億円	▲3億円	▲14.3%
環境性能割交付金	1,400万円	▲3,100万円	▲68.9%
地方特例交付金	2億9,240万円	2億1,040万円	256.6%
交通安全対策特別交付金	1,122万円	122万円	12.2%

【概要】

歳出の総額は399億7,900万円ですが、借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は354億9,525万円です。実質的な予算額は、令和2年度と比較して3.6%（12億1,930万円）の増となっています。

歳出全体では、総額9億円を超える新型コロナウイルス感染症の対策経費が実質的な予算総額を押し上げる要因となっています。

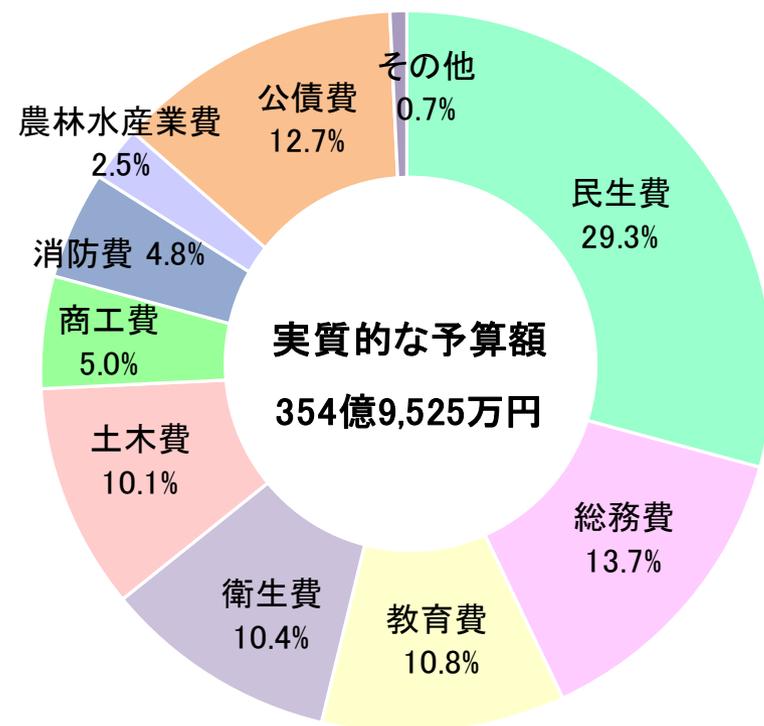
目的別では、好調なふるさと納税に比例した返礼品等の諸経費の増加に伴い総務費が増、国による新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施等により衛生費が増、分水総合体育館改修事業等の実施により教育費が増となっているほか、小関産業団地の造成事業の完了により商工費が減となっています。

主な増減内容は次ページ以降のとおりです。

■ 令和3年度 歳出(支出)の目的別内訳

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
民生費	103億8,907万円	▲6,163万円	▲0.6%
総務費	48億7,354万円	6億1,842万円	14.5%
教育費	38億1,528万円	5億5,276万円	16.9%
衛生費	36億8,805万円	2億8,782万円	8.5%
土木費	35億8,767万円	2,542万円	0.7%
商工費	17億8,427万円	▲3億5,382万円	▲16.5%
消防費	17億1,018万円	▲268万円	▲0.2%
農林水産業費	8億7,600万円	5,757万円	7.0%
公債費	89億9,245万円 (45億 870万円)	▲13億9,873万円 (9,757万円)	▲13.5% (2.2%)
その他	2億6,250万円	▲213万円	▲0.8%
合計	399億7,900万円 (354億9,525万円)	▲2億7,700万円 (12億1,930万円)	▲0.7% (3.6%)

■ 「実質的な予算額」の目的別割合



一般会計「歳出予算」(目的別)の主な増減理由

民生費 103億8,907万円 前年度比6,163万円(0.6%)減

【主な増減理由】

- ・サービス利用量増による障がい者介護給付費支給事業6,997万円の増
- ・私立保育園から移行に伴う私立認定こども園経費2億5,351万円の増
- ・東児童センター改修事業8,333万円の皆増
- ・粟生津保育園大規模改修事業2億9,430万円の皆減

教育費 38億1,528万円 前年度比5億5,276万円(16.9%)増

【主な増減理由】

- ・分水総合体育館改修事業6億2,587万円の増
 - ・スポーツパークテニスコート改修事業1億7,134万円の増
 - ・吉田図書館改修事業1億5,471万円の皆減
- ※上記のほか、令和2年度の国補正予算を活用した繰越事業として、小・中学校感染症対策施設改修等事業、感染症対策等の学校教育活動継続支援事業をあわせて実施します。

土木費 35億8,767万円 前年度比2,542万円(0.7%)増

【主な増減理由】

- ・新生町佐渡線交差点改良事業5,000万円の増
 - ・下水道事業会計繰出金5,512万円の増
- ※上記のほか、令和2年度の国補正予算を活用した繰越事業として、社会資本整備総合交付金事業をあわせて実施します。

農林水産業費 8億7,600万円 前年度比5,757万円(7.0%)増

【主な増減理由】

- ・農地集積・集約化促進事業1,826万円の増
 - ・国営土地改良事業1,881万円の増
 - ・県営土地改良事業1,289万円の増
- ※上記のほか、令和2年度の国補正予算を活用した繰越事業として、県営土地改良事業をあわせて実施します。

総務費 48億7,354万円 前年度比6億1,842万円(14.5%)増

【主な増減理由】

- ・自治体クラウドファンディング事業3億円の増
- ・ふるさと燕応援基金積立金2億円の増
- ・広報発行月1回化等に伴う広報広聴費1,603万円の減
- ・国勢調査終了に伴う統計調査費2,282万円の減

衛生費 36億8,805万円 前年度比2億8,782万円(8.5%)増

【主な増減理由】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業3億204万円の皆増
 - ・給付費の増による後期高齢者医療広域連合運営費2,153万円の増
 - ・実績に伴う子ども医療費助成事業1,128万円の減
- ※上記のほか、令和2年度の国補正予算を活用した繰越事業として、新型コロナウイルスワクチン接種事業(高齢者及び医療従事者)をあわせて実施します。

商工費 17億8,427万円 前年度比3億5,382万円(16.5%)減

【主な増減理由】

- ・中小企業信用保証支援事業5,000万円の増
- ・中小企業DX推進支援事業3,703万円の皆増
- ・イノベーション拠点整備支援事業1億1,087万円の皆増
- ・産業団地造成事業完了に伴う企業立地活性化事業4億8,298万円の減

公債費 89億9,245万円 前年度比13億9,873万円(13.5%)減

【主な増減理由】

- ・事業債償還元金13億8,495万円の減
(借換債14億9,630万円の減)
(借換債を除く事業債償還元金1億1,135万円の増)
- ・事業債償還利子1,378万円の減

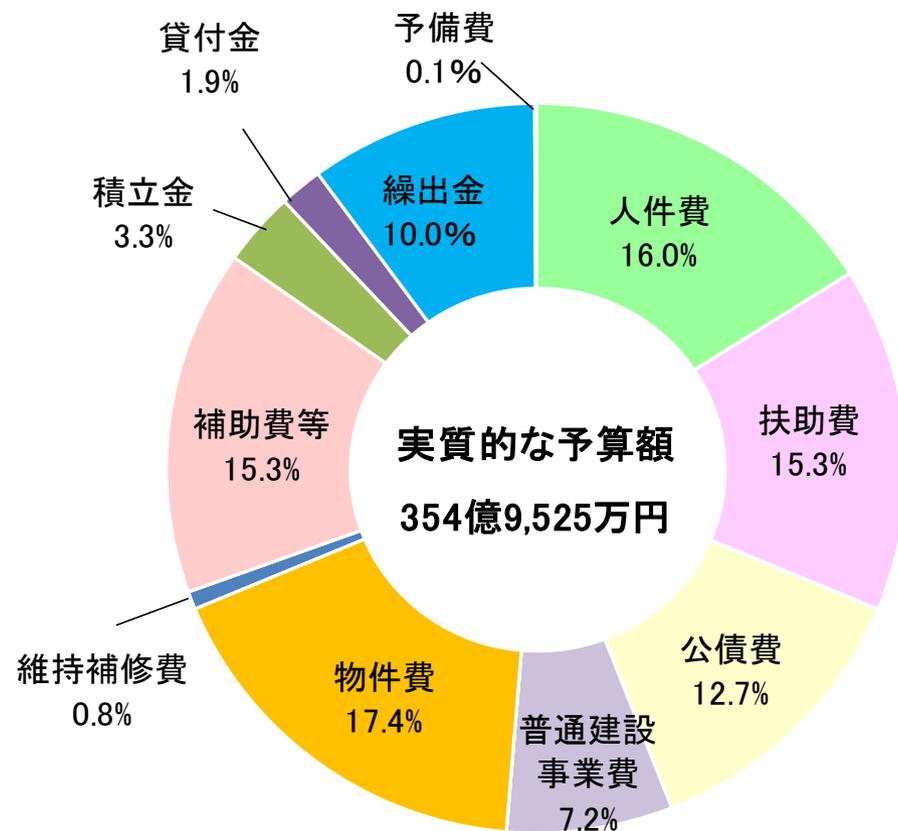
【概要】

性質別では、保育園民営化に伴う職員数の減等により人件費が減、小関産業団地造成事業の完了等により普通建設事業が減となっていますが、私立認定こども園経費の増等により扶助費が増、国による新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施のほか自治体クラウドファンディング型を含めたふるさと燕応援寄附金の諸経費の増により物件費が増、中小企業信用保証支援事業等の新型コロナウイルス感染症対策の事業者向け支援の拡充等により補助費が増となっています。

令和3年度 歳出(支出)の性質別内訳

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
義務的経費	201億2,088万円 (156億3,713万円)	▲13億 870万円 (1億8,760万円)	▲6.1% (1.2%)
人件費	56億9,292万円	▲1億2,657万円	▲2.2%
扶助費	54億2,551万円	2億1,660万円	4.2%
公債費	90億 245万円 (45億1,870万円)	▲13億9,873万円 (9,757万円)	▲13.4% (2.2%)
投資的経費	25億7,842万円	▲2億5,012万円	▲8.8%
普通建設事業費	25億7,841万円	▲2億5,012万円	▲8.8%
災害復旧費	0万円	—	0.0%
その他経費	172億7,971万円	12億8,182万円	8.0%
物件費	61億7,381万円	6億9,593万円	12.7%
維持補修費	2億8,029万円	▲511万円	▲1.8%
補助費等	54億2,856万円	3億7,088万円	7.3%
積立金	11億5,985万円	2億 94万円	21.0%
貸付金	6億6,802万円	▲1,590万円	▲2.3%
繰出金	35億3,919万円	3,508万円	1.0%
予備費	3,000万円	—	0.0%
合計	399億7,900万円 (354億9,525万円)	▲2億7,700万円 (12億1,930万円)	▲0.7% (3.6%)

「実質的な予算額」の性質別割合



【基金】

財政調整基金残高は、令和2年度末で23億8,788万円、令和3年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、10億6,844万円となっています。また、ふるさと燕応援基金は、令和2年度末で27億6,674万円、令和3年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した金額は30億8,820万円となっており、令和3年度は基金の活用目的である小学校等のエアコン整備事業償還費、スポーツ施設の改修事業や新型コロナウイルス感染症対策事業に充当するとともに、クラウドファンディングの募集目的を踏まえて、今後も計画的に繰り入れを行っていく予定です。基金全体の合計残高は、令和2年度末で64億629万円、令和3年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、53億3,921万円となっています。

■基金残高

区 分	令和2年度 末残高見込	年度中増減見込		令和3年度 当初予算時	市民1人当たり(円)	
		繰入金	積立金		R2末	R3当初
財政調整基金	23億8,788万円	13億1,945万円	1万円	10億6,844万円	3万 339円	1万3,575円
減債基金	7億1,760万円	—	1万円	7億1,761万円	9,117円	9,117円
ふるさと燕応援基金	27億6,674万円	7億7,857万円	11億 3万円	30億8,820万円	3万5,152円	3万9,237円
ガス事業譲渡清算金 活用基金	1億9,621万円	—	0万円	1億9,621万円	2,493円	2,493円
社会福祉事業基金	1,605万円	—	—	1,605万円	204円	204円
環境整備基金	69万円	61万円	0万円	8万円	9円	1円
森林環境保全基金	600万円	561万円	700万円	739万円	76円	94円
産業振興事業基金	913万円	—	0万円	913万円	116円	116円
仲治奨学基金	1億4,494万円	7,302万円	5,140万円	1億2,333万円	1,842円	1,567円
義務教育施設整備基金	162万円	—	0万円	162万円	21円	21円
子ども夢基金	1億4,243万円	4,767万円	0万円	9,476万円	1,810円	1,204円
入学準備金貸付基金	622万円	200万円	139万円	562万円	79円	71円
美術品取得準備基金	1,078万円	—	0万円	1,078万円	137円	137円
合 計	64億 629万円	22億2,692万円	11億5,985万円	53億3,921万円	8万1,395円	6万7,837円

※令和2年度末残高見込及び令和3年度当初予算時の数値は、令和2年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和2年度中の予算補正や事業費の確定等により変動することがあります。

※市民1人当たりの残高は、令和2年12月末人口(住基台帳人口)に基づき算出

【市債】

市債全体の合計残高は、令和2年度末で475億4,025万円、令和3年度当初予算に計上した借入金と償還金を反映した市債残高は、461億8,143万円となっています。

■市債残高

区 分	令和2年度 末残高見込	割合	年度中増減見込		令和3年度 当初予算時	割合	市民1人当たり(円)	
			借入額	償還額			R2末	R3当初
その他市債	127億3,428万円	26.8%	12億5,110万円	13億1,571万円	126億6,967万円	27.4%	1万6,179円	1万6,097円
臨時財政対策債	160億1,944万円	33.7%	18億円	12億9,541万円	165億2,404万円	35.8%	20万3,533円	20万9,944円
合併特例債	187億8,653万円	39.5%	—	17億9,881万円	169億8,772万円	36.8%	23万8,689円	21万5,835円
合 計	475億4,025万円	100.0%	30億5,110万円	44億 992万円	461億8,143万円	100.0%	60万4,016円	58万6,750円

※令和2年度末残高見込及び令和3年度当初予算時の数値は、令和2年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和2年度中の予算補正や事業費の確定等により変動することがあります。

※市民1人当たりの残高は、令和2年12月末人口(住基台帳人口)に基づき算出

【債務負担行為】

債務負担行為の残高は、令和2年度末で18億9,068万円となっていますが、当初予算においてコンビニ交付サービスの導入及び運用に係る経費(5,309万円)等を新たに追加したことにより、令和3年度当初時点で20億981万円となっています。

■債務負担行為残高

区 分	残高	市民1人当たり(円)
令和元年度末	31億8,489万円	4万 186円
令和2年度末(見込)	18億9,068万円	2万4,022円
令和3年度当初予算時	20億 981万円	2万5,535円

※市民1人当たりの残高は、令和元年度末については令和元年12月末人口、令和2年度末(見込)及び令和3年度当初予算時については令和2年12月末人口に基づき算出

第2次燕市総合計画を基本とした 戦略体系に基づく主要事業

次ページ以降の体系図には、それぞれの施策の推進を図ることで目標に貢献できるSDGs (※)のアイコンを表示しています。

※2015年（平成27年）の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で記載された国際目標

【SDGsの17の目標のアイコン】



新 = 新規事業 拡 = 拡充事業
臨 = 臨時的事業

【基本方針】

(1) 雇用・就労を支える産業の振興

【施策】

① ものづくり産業の活性化



② 新たな産業育成・創業の支援



③ 変化に対応する農業の振興



(2) 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

① 知・徳・体を育成する教育の推進



【主要事業】

【ページ】

新 生産拠点整備補助制度の新設（企業立地活性化事業）
新 市内企業感染症リスク管理支援事業
臨 中小企業信用保証支援事業
臨 つばめ東京オリンピックプロジェクト

27

新 中小企業DX推進支援事業
臨 IoT推進事業
臨 新商品新技術開発支援事業
臨 伴走型支援事業（地場産業振興一般事業）
臨 産業振興協議会（地場産業振興一般事業）

28

新 イノベーション拠点整備支援事業
臨 小売商業活性化事業
臨 つばめ創業・事業承継支援事業
臨 次世代産業育成支援事業

29

臨 農産物販路拡大推進事業
臨 園芸作物産地化推進事業
臨 水田経営力強化推進事業
臨 チャレンジ・ファーマー支援事業
新 踏み出せ！農業！スタートアップ事業
新 里山等の森林資源活用推進事業（森林整備費）
新 もみ殻等循環支援事業 [48ページ参照]

30

新 情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト
臨 ICT教育推進事業
新 実習生応援PCR検査費用助成事業
臨 つばくろいきいきスポーツクラブ事業
臨 高校とともに創る輝く人材育成事業
臨 羽ばたけつばくろ応援事業

31

新 つばめ長善プロジェクト
臨 長善館学習塾事業
臨 つばくろロボキッズ教室（燕ロボット・プログラミング教室事業）
臨 Jack & Betty プロジェクト
臨 広報つばめ「子ども記者」（広報広聴費）

32

新 小学校屋内運動場照明器具改修事業
新 中学校屋内運動場照明器具改修事業
新 小学校感染症対策施設改修等事業
新 中学校感染症対策施設改修等事業
臨 地域に根ざす学校応援団事業

②安心して産み育てられる子育て支援



- 新 全天候型子ども遊戯施設整備事業
- 新 東児童センター改修事業
- 拓 なかまの会の児童クラブ化推進事業

33

- 新 発達支援コーディネーター育成事業（療育支援事業）
- 拓 子育てコンシェルジュ育成事業（子どもの居場所運営事業）
- 病児・病後児保育事業
- 子育てアプリ事業
- つばめ子育て応援カード事業
- 拓 育児教室・育児相談会（母子保健衛生事業）
- 拓 不妊治療助成事業
- 不育症治療助成事業

34

(3)健やかな暮らしを支える医療福祉の充実

①医療サービスの機能強化



- 新 看護職員修学資金貸付事業
- 新 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 拓 不妊治療助成事業 [再掲34ページ参照]
- 不育症治療助成事業 [再掲34ページ参照]
- 新 市民向けPCR検査費用助成事業
- 新 介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業

35

- 妊産婦医療費助成事業
- 子ども医療費助成事業
- 残薬・ポリファーマシー対策事業(保健事業費)

36

②地域で支える高齢者福祉



- 拓 人生100年時代の健康サポート事業
- 新 自立支援ケアプラン研修会（地域リハビリテーション活動支援事業）[42ページ参照]
- 介護職員研修費等助成事業（介護人材確保育成事業費）
- 介護職員表彰事業

36

③障がいのある人への切れ目のない支援



- 拓 障がい者タクシー利用料金助成事業（身体障がい者福祉事業）
- 拓 成年後見人申立費用助成事業（地域生活支援事業）[42ページ参照]
- 重度心身障がい者医療費助成事業
- 新 発達支援コーディネーター育成事業（療育支援事業）[再掲34ページ参照]
- 障がい児通所支援費支給事業
- 障がい者基幹相談支援センター運営事業（地域生活支援事業）
- 就労継続支援A型・B型事業（障がい者介護給付費支給事業）
- ペットボトルリサイクル推進事業・小型家電リサイクル推進事業（障がい者就労支援事業） [48ページ参照]

37

(4)移住・定住の促進

①移住・定住希望者へのサポート強化



- ⑧ つばめ移住・定住促進事業
 - ⑧ 移住者住宅支援事業補助金
 - ⑨ テレワーカー交通費補助金
 - ⑧ 移住・就業等支援事業補助金
 - 移住・定住総合相談
 - 移住希望者向けツバメビト移住ツアー
 - ⑨ 滞在型のおためし生活体験
 - ⑨ おためし地域おこし協力隊
- ふるさと燕若者応援事業
- ⑧ 移住家族支援事業
- 定住家族支援事業

38

2 活動人口増戦略

【基本方針】

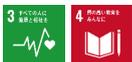
(1)市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

【施策】

①元気を磨く健康づくり



②健全な心と体を支えるスポーツの推進



③心豊かな生涯学習・文化活動の充実



【主要事業】

- ⑨ ワンコインがん検診の開始 (健(検)診事業)
- ⑨ 健康診査等予約システムの導入 (健(検)診事業)
- ⑧ 妊婦健康診査費補助金 (母子健康診査事業)
- つばめ元気かがやきポイント事業 (健康づくりマイストーリー運動)(介護予防普及啓発事業)
- 生活習慣病改善指導事業
- 燕さくらマラソン大会 (生涯スポーツ振興費)
- ⑧ ホストタウン推進事業
- ⑨ 分水総合体育館改修事業
- ⑨ スポーツパークテニスコート改修事業
- ⑨ 燕市民武道館改修事業
- ⑨ 小中川小学校グラウンドバックネット等整備事業
- 子どもの体力向上サポート事業 (生涯スポーツ振興費)
- つばくろいきいきスポーツクラブ事業 [再掲31ページ参照]
- ⑧ 図書館サービスの充実事業 (図書館管理運営費)
- 生涯学習人材バンク事業
- 文化会館自主事業
- 燕市美術展覧会開催事業 (文化振興事業)
- ⑧ 長善館史料館活性化事業 (長善館史料館管理運営費)
- ⑨ 吉田公民館改修事業

【ページ】

39

40

41

(2) 支え合い・助け合い 活動の活発化	① 支え合いの地域福祉 	新 自立支援ケアプラン研修会 (地域リハビリテーション活動支援事業) 拡 成年後見人申立費用助成金 (地域生活支援事業)(任意事業費) ○ 生活困窮者自立支援事業 ○ 子どもの居場所づくり支援事業 ○ 子ども家庭相談支援事業	42
	② 市民協働のまちづくり 	○ まちづくり協議会支援事業 ○ 協働のまちづくり推進事業 ○ 外国人交流会の開催 (地域振興一般経費)	42
(3) 若者・女性の力を 活かしたまちづくり	① 若者の活動の活発化 	拡 つばめ若者会議事業 ○ 羽ばたけつばくろ応援事業 [再掲31ページ参照]	43
	② 女性が活躍しやすい 環境づくり 	○ つばめ子育て応援企業サポート事業 拡 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業 新 みんなが活躍できる職場環境づくり推進補助金 ○ 女性活躍・ダイバーシティフォーラムの開催 ○ つばめ輝く女性表彰の実施 ○ 男女共同参画推進事業	43

3 交流・応援 (燕)人口増戦略

【基本方針】	【施策】	【主要事業】	【ページ】
(1) 観光の振興	① 着地型観光の振興 	拡 産業史料館受入体制の整備 (産業史料館施設管理運営費) 拡 ものづくり体験の強化 新 修学旅行向け学習ハンドブック等の作成 ○ 産業史料館企画展開催事業 (産業史料館運営業務委託事業) 新 教育旅行エージェント向けプロモーション (燕・弥彦広域観光連携事業) ○ 広域連携観光プロモーション事業 ○ つばめ産業観光推進事業 (観光推進費) ○ 産業観光受入体制整備事業	44
(2) 燕市のファンづくり	① イメージアップ・ ふるさと応援 	拡 ふるさと燕応援事業 ○ 自治体クラウドファンディング事業 (自治体クラウドファンディング事業、基金積立金) ○ 燕ファンづくり推進事業 拡 シティプロモーション事業 (シティプロモーション事業) (広報広聴費) 新 大河津分水通水100周年記念プレ事業	45

【基本方針】	【施策】	【主要事業】	【ページ】
(1)安全・安心機能の向上	①災害に強いまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所感染症対策事業（災害対策事業） ● 木造住宅耐震化事業（建築総務費） ● 固定電話への防災情報配信事業 ● 総合防災訓練事業 ○ 地域防災活動推進事業（災害対策事業） 	46
	②防犯・消費者保護対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯カメラ設置補助事業（防犯事業費） ○ 消費生活相談窓口事業（戸籍住民基本台帳費） 	46
	③交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 吉田東通り自歩道整備事業 ○ 新堀新町線踏切拡幅歩道整備事業 ○ 高齢者運転免許自主返納支援事業（交通安全推進事業） ○ 交通安全指導強化事業（交通安全推進事業） 	47
	④公共交通の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規バス路線導入事業（公共交通運行事業） ○ 循環バス運行事業（公共交通運行事業） ● 予約制乗合ワゴン車運行事業（公共交通運行事業） 	47
	⑤快適な環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ カンカンBOOK事業（塵芥処理費、保育園運営費） ○ ペットボトルリサイクル推進事業（障がい者就労支援事業） ○ 小型家電リサイクル推進事業（障がい者就労支援事業） ● 新最終処分場建設計画策定事業 ○ 環境負荷低減対策支援事業 ● もみ殻等循環支援事業 ○ 環境美化推進イベント事業（環境衛生費） ○ Let's Try Eco啓発ポスターコンクール（環境政策推進事業） 	48
(2)快適な都市機能の向上	①まちなか居住と空き家等対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地再生モデル事業 ● 空き家跡地活用促進補助事業（空き家等対策推進事業） ● 空き家等対策連絡協議会事業 ● 住宅リフォーム助成事業（建築総務費） 	49
	②親しみのある公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 燕市交通公園サイクルモノレール改修事業（都市公園管理費） 	50

③人にやさしい道路 環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 新 中央通小高線道路改良事業 ● 新 藤見線道路改良事業 ○ 修繕料（道路維持費）等 	50	
 	④安全・安心・おいしい水道水の供給	<ul style="list-style-type: none"> ○ 浄水場施設再構築事業 ○ 老朽管路更新事業 	51
	⑤適正な汚水処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共下水道の整備（未普及対策）事業 ○ 本町排水区(合流)管路施設改築更新事業 ● 臨 下水終末処理場の在り方についての検討業務 ○ 合併処理浄化槽転換促進事業（環境衛生費） ● 臨 衛生センター施設整備運営最適化推進事業（し尿処理場運転管理費） 	51
	⑥新たなまちづくりに 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 臨 第3次燕市総合計画策定事業（政策調査研究費） ○ 建物系公共施設保有量適正化事業 [53ページ参照] ● 臨 まちづくりマスタープラン策定事業 ● 新 中心市街地再生モデル事業 [再掲49ページ参照] ○ 国道116号吉田バイパス整備促進事業（都市計画総務費） ● 臨 新規バス路線導入事業（公共交通運行事業） [再掲47ページ参照] ● 新 生産拠点整備補助制度の新設（企業立地活性化事業） [再掲27ページ参照] ● 新 全天候型子ども遊戯施設整備事業 [再掲33ページ参照] 	52
			

5 持続可能な行財政運営の推進

	【主要事業】	【ページ】
行政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 新 コンビニ交付サービスの導入準備（情報システム管理費） ● 新 キャッシュレス決済の導入（収納経費） ● 新 オンライン申請の推進（情報システム管理費） ● 拡 公式LINEの機能強化（広報広聴費） ● 拡 オンライン職員採用試験の実施（人事厚生研修費） ○ RPAを活用した働き方改革（情報システム管理費） ○ 建物系公共施設保有量適正化事業 ● 新 燕北小学校駐車場整備事業 ● 臨 道の駅「国上」関連施設の指定管理者選定方法見直し検討 	53
開かれた行財政運営		
		
		

- ①市内への大規模な設備投資を促進し、産業基盤の強化を図ります。
- ②事業継続を支援するとともに、ものづくり基盤技術の維持・強化を図り、地域産業の活性化につなげます。
- ③企業が持つ高い技術力を発信するとともに、「燕ブランド」の高付加価値化を目指します。

企業立地の促進

生産拠点整備補助制度の新設 新 (企業立地活性化事業)

(対象地域)
重点促進区域 = 黄色
準ずる地域 = 朱色



【予算額】 1,000万円 (予算書P.147)

サプライチェーンの見直し等によって生じる国内生産拠点への設備投資の高まりに対応し、大規模な工場建設等の設備投資を呼び込むため、市内に5億円以上の工場等を建設した場合の建物及び構築物の新規取得に係る補助制度を新設します。

★生産拠点整備補助金 (3年間の期間限定)

- ◆対象要件
 - ・業種
製造業、情報通信業、運輸業、卸売業
 - ・対象地域
重点促進区域、または準ずる地域
 - ・必要投資額
建物・構築物の新規取得額5億円以上
- ◆補助率・補助額
 - ・最大10% (基本補助率×1 + 上乗せ率×2)
 - ・上限額 1.5億円
 - ※1 基本補助率 重点促進区域5% その他2.5%
 - ※2 上乗せ率 最大5% (市内建設業者発注工事、本社移転、市内新規雇用の状況で算定)

【担当課】 商工振興課

建物・構築物の取得費を補助し
市内の生産拠点の整備を促進



感染症対策の継続

市内企業感染症リスク管理支援事業 新 【予算額】 1,008万円 (予算書P.141)

市内企業の従業員などに対する事業活動上必要なPCR検査費用を助成します。

- ◆補助率 1検体あたり3/4 (最大1万円)
 - ◆上限額 従業員数に応じ30~100万円
- 【担当課】 商工振興課

中小企業信用保証支援事業 【予算額】 1,000万円 (予算書P.139)

県制度融資「新型コロナウイルス感染症対策特別融資」に対し100%の保証料補給を引き続き行います。【担当課】 商工振興課

燕ブランドの発信

つばめ東京オリンピックプロジェクト 【予算額】 233万円 (予算書P.149)

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、燕製品のブランド力を強化・発信します。

- ◆大会でのオリジナルカトラリーの活用
 - ◆大会期間中のイベントを通じたPR
- 【担当課】 商工振興課



- ④企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化を支援し、労働生産性の向上を図ります。
- ⑤産地全体の持続的な発展を目指し、新商品・新技術開発に対する支援など、経営力や競争力向上の取組を進めます。

DXの推進

中小企業DX推進支援事業 **新**

【予算額】 3,703万円 (予算書P.141)

市内企業のDXを推進するため、デジタル技術を活用したビジネススタイルへの転換費用を助成します。

◆オンライン環境整備補助金

- ・対象経費
WEBサイトの作成費用、
ECの導入費用、
製品のPR動画制作費用、
採用活動のオンライン化に
要する費用 等
- ・補助率 1/2以内
- ・上限額 50万円



◆オンライン見本市出展料補助金

- ・対象経費
販路開拓を目的としたオンライン見本市
の出展料
- ・補助率 1/2
- ・上限額 15万円



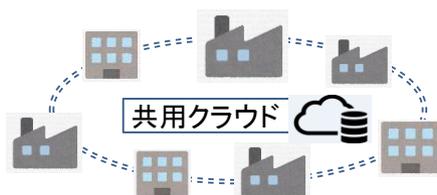
【担当】 商工振興課

IoT推進事業

【予算額】 1,419万円 (予算書P.149)

「燕市IoT推進ラボ」をプラットフォームに、市内企業のIoT等活用による労働生産性向上や技術の高度化のため、共用クラウドの本格運用に向けた最終準備を進めます。

- ◆IoT活用事例セミナー、個別相談会の開催
 - ◆共用クラウド基盤構築・運用への支援
- 【担当課】 商工振興課



ものづくり産業の活性化

伴走型支援事業 **新**

(地場産業振興一般事業)

【予算額】 38万円 (予算書P.139)

経営力向上の意欲がある中小企業や事業計画の実効性を高めたい創業予定者に対し、県と連携し、経営コンサルタントなどの専門家と寄り添った支援を行います。【担当課】 商工振興課

高付加価値化の推進

新商品新技術開発支援事業 **拡**

【予算額】 3,565万円 (予算書P. 147)

燕製品の高付加価値化を推進するため、開発経費の助成メニューに、感染症の課題解決につながる開発の特別枠と、大河津分水通水100周年記念商品開発枠を加えます。

- ◆通常枠・特別枠
 - ・対象 原材料費、加工費等の研究開発費
 - ・補助 通常枠：1/2以内 (上限額250万円)
特別枠：2/3以内 (")
 - ◆大河津分水通水100周年記念商品枠
 - ・対象 通水100周年を市内外にPRし、記念イベント等で販売する商品の開発費
 - ・補助 2/3以内 (上限額30万円)
- 【担当課】 商工振興課

産業振興協議会 **拡**

(地場産業振興一般事業)

【予算額】 54万円 (予算書P.139)

産官金が連携し、中小・小規模事業者の持続的な発展のための効果的な施策について議論を行います。

- ◆新潟大学との連携による産地特性の調査分析
- 【担当課】 商工振興課

- ①ビジネススタイルの変化を捉え、新分野に積極的に取り組む事業者を支援し、新たな産業の創出を図ります。
- ②新規創業や事業承継に対する支援を行い、企業の成長をサポートします。
- ③地域の若者や商工団体などと連携し、商店・商店街の魅力向上とまちなかの活性化を目指します。

産地産業のイノベーション創出

イノベーション拠点整備支援事業 **新** 【予算額】 1億1,087万円 (予算書P.141)

首都圏からのテレワーカー等の誘致と市内の創業環境の向上を図るため、民間によるシェアオフィス等の開設を支援する補助制度を新設するとともに、誘致プロモーション活動を実施します。

◆シェアオフィス等開設・運営費補助（イノベーション拠点施設開設支援補助金）

- ・補助率 施設整備費と運営費の合計額の4/5以内
- ・上限額・採択数

(収容20人未満施設) 3,000万円	}	3施設
(収容20人以上施設) 4,500万円		

◆シェアオフィスへの進出企業支援金 100万円

◆首都圏における誘致プロモーション活動

【担当課】 商工振興課



テレワーカーの移住・定住促進（つばめ移住・定住促進事業）
【詳細は38ページ参照】

創業・次世代産業の活性化

小売商業活性化事業 **拡** 【予算額】 850万円 (予算書P.139)

商店街活性化に向けたイベントの実施や、空き店舗の利活用促進のため、未利用店舗改装資金助成の補助率と上限額を引き上げます。

◆まちなかにぎわい創出懇談会、ツバメルシェ

◆商店街店舗リノベーション補助金

- ・1/3以内⇒1/2以内
- ・上限額 50万円⇒150万円



【担当課】 商工振興課

つばめ創業・事業承継支援事業 **拡** 【予算額】 790万円 (予算書P.141)

創業しやすい環境のさらなる充実に向け、創業支援家賃補助の上限額を引き上げます。

◆創業支援家賃補助（1/3以内 最大12月）

上限額 3万円⇒5万円/月【担当課】 商工振興課

次世代産業育成支援事業

【予算額】 87万円 (予算書P.149)



次世代産業への参入促進に向け実施している「医療機器研究」及び「フィギュアスケートブレード開発」に対し、製造や販路開拓を支援します。

【担当課】 商工振興課

- ①水稲と園芸作物による複合営農への取組を支援し、農業経営の安定化を目指します。
- ②付加価値の高い農産物による販路開拓を支援し、農業所得の向上を図ります。
- ③意欲ある農業経営者を支援するとともに、若い人材の経営参画を促進し、農業の持続的発展を図ります。

魅力ある農産物の生産拡大

農産物販路拡大推進事業 **拓**

【予算額】 858万円 (予算書P.131)

市内農産物の消費活性化や販路拡大のため「つばめ食べて応援キャンペーン」を開催するとともに、ECサイト出展等助成制度を新設します。

- ◆つばめ食べて応援キャンペーン
農業まつりと連携を高めて開催
- ◆ECサイト販路開拓応援補助金 (3年間限定)

- ・対象 ECの導入費用
- ・補助率 1/2以内、上限額50万円

【担当課】 農政課



園芸作物産地化推進事業 **新**

【予算額】 625万円 (予算書P.133)

園芸の産地化を図るため、園芸作物の作付面積に対し助成するとともに、新たな食材ニーズの産地化を研究する「農産物地商地産プロジェクト」を実施します。

- ◆園芸作物産地化推進補助金 (新設)
えだまめ、たまねぎ 3万円/10a
- ◆農産物地商地産プロジェクト
飲食店の食材ニーズと生産農家の栽培可能性をマッチング



【担当課】 農政課

水田経営力強化推進事業 **拓**

【予算額】 5,488万円 (予算書P.135)

所得向上による農業者の経営基盤強化を支援するため、主食用米以外の収益性の高い販売作物の作付面積等に応じて助成を行います。

- ◆輸出用米 3千円→1万円 (10a当り)
- ◆直播栽培 3千円→5千円 (10a当り)
(拡大部分に限定)

- ◆大豆 1等 25円→30円 (kg当り)
2等 15円→20円 (kg当り)

【担当課】 農政課

チャレンジ・ファーマー支援事業

【予算額】 1,000万円 (予算書P.131)

経営規模拡大に必要な機械等の導入や、農業経営の複合化、先進技術導入など、所得向上に向けてチャレンジする農業者を支援します。

- ◆補助率 1/4 (若手枠は1/2)
- ◆上限額
 - ・規模拡大支援 : 150万円
 - ・複合営農等支援 : 50万円
 - ・先進技術導入支援 : 100万円

【担当課】 農政課



担い手の確保

踏み出せ！農業！スタートアップ事業 **新**

【予算額】 140万円 (予算書P.133)

新たな担い手の確保を図るため、農業に興味をもつ就農希望者に対し、農業技術習得等の研修費用と農地借り入れ費用を支援します。

- ◆技術・知識・資格習得支援
 - ・対象経費 農業大学校授業料、研修受講料、先進農家が行う農業研修費等
 - ・補助率 1/2、上限額10万円
- ◆農地確保支援
 - ・対象経費 農地賃借料
 - ・補助率 1/2
 - ・上限額30万円 (最大3年) 【担当課】 農政課

農地・里山の環境保全

里山等の森林資源活用推進事業 **新**

(森林整備費)

【予算額】 28万円 (予算書P.137)

森林環境保全活動を推進するため、国上山遊歩道の点検や補修、倒木整理に取り組む団体を支援します。【担当課】 農政課



もみ殻等循環支援事業 **新**

【48ページ参照】 【担当課】 農政課

- ①読み解く力の向上により、子どもたちの確かな学力の定着と、生きる力を育成します。
- ②ICT教育を推進し、子どもたち一人ひとりの個性に合わせた学びを提供します。
- ③児童・生徒・学生の夢や目標の実現を支援し、次代を担う人材を育成します。

学力向上の推進

情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト 新

【予算額】533万円 (予算書P.177)

各教科の学力や学ぶ意欲の土台となる「読解力」を育成するための指導法を研究し、授業改善を行うことにより、児童・生徒の学力向上を図り、AIが進化する社会において、自律して生きていく力を養います。

令和3年度は、児童・生徒の読解力の状況や傾向を調査した上で、2019年ビジネス書大賞など数々の賞を受賞した「AI vs 教科書が読めない子どもたち」の著者で、一般社団法人 教育のための科学研究所 所長の新井紀子氏による指導のもと、調査結果を分析するとともに、指導法を研究します。

- ◆リーディングスキルテストの実施 (小学6年生、中学1・2・3年生)
 - ◆リーディングスキルテストの調査結果分析
 - ◆教員向け講演会 等
- 【担当課】学校教育課



学ぶ意欲を高める教育の推進

ICT教育推進事業 拡

【予算額】8,947万円 (予算書P.171)

児童・生徒に1人1台配置した情報端末を活用し、学校教育の情報化やオンライン学習の整備に取り組みます。



【担当課】学校教育課

燕市出身等の学生応援

実習生応援PCR検査費用助成事業 新

【予算額】150万円 (予算書P.177)

燕市出身または燕市在住で、市内及び近郊での教育実習等を行う学生を対象に、民間検査機関が実施するPCR検査の費用を助成します。

- ◆上限額15,000円 (1人1回限り)
- 【担当課】学校教育課

課外活動の充実

つばくろいきいきスポーツクラブ事業

【予算額】231万円 (予算書P.177)

部活動以外にも体力や技術の向上を目指したい生徒のために、部活動を補完するクラブを設置し、生徒の希望に応えます。



- ◆設置予定クラブ：陸上、バレーボール、バスケットボール、野球、水泳
- 【担当課】学校教育課

次代を担う人材育成の推進

高校とともに創る輝く人材育成事業

【予算額】49万円 (予算書P.175)

分水高校と吉田高校が行う魅力ある学校づくりの活動を支援し、地域が求める次代を担う人材を育成します。【担当課】学校教育課

羽ばたけつばくろ応援事業

【予算額】108万円 (予算書P.175)

自己啓発活動や社会貢献活動など、将来の夢を実現するために活動を行いたい小中高生を支援します。【担当課】学校教育課



- ④ 燕らしい特色ある教育により、郷土を愛する心を培うとともに、自分らしい生き方を実現していく力を育みます。
- ⑤ すべての子どもたちが安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の充実を図ります。

個性を伸ばす教育の推進

つばめ長善プロジェクト 新

これまで事業ごとに参加募集していたものを、プロジェクトとして募集を一本化し、児童・生徒が参加しやすい環境を整えます。

★長善館学習塾事業 (拡) 【予算額】 67万円 (予算書P.173)

様々な活動を通じて子どもたちの知的好奇心を高めるとともに、協働することを通して、思考力・コミュニケーション力を育みます。



- ◆ 内容：サイエンス教室、市PR動画作成
 - ◆ 対象：小学6年生→小学5・6年生
- 【担当課】学校教育課

★つばくろロボキッズ教室 (燕ロボット・プログラミング教室事業) 【予算額】 73万円 (予算書P.175)

プログラミング的思考を働かせながら小型自律動作ロボットを操作する活動や、プログラミングしたロボットを競う大会に参加することを通して、プログラミングに対する興味・関心や学び続ける意欲を高めます。

【担当課】学校教育課

★Jack&Bettyプロジェクト 【予算額】 4,098万円 (予算書P.169)

世界共通語である英語への興味・関心を高め、英語によるコミュニケーション能力を向上させるレッスンをを行うことで、グローバル社会で活躍する人材を育成します。

【担当課】学校教育課



★広報つばめ「子ども記者」(広報広聴費) 【予算額】 105万円 (予算書P.61)

子どもたちが自ら企画、取材、編集することを通して、燕市への愛着心を育むとともに、協調性や積極性を養います。

【担当課】広報秘書課

安心して学べる教育環境の整備

小学校屋内運動場照明器具改修事業 新 【予算額】 3,450万円(予算書P.183)

中学校屋内運動場照明器具改修事業 新 【予算額】 1,380万円(予算書P.187) 【事業期間】 令和3～5年度

省エネのため、順次照明のLED化を進めます。

- ◆ 令和3年度改修対象：燕北小学校、小池小学校、分水北小学校、小池中学校
- 【担当課】学校教育課



小学校感染症対策施設改修等事業 新 【R2繰越予算額】 4億199万円

中学校感染症対策施設改修等事業 新 【R2繰越予算額】 6,372万円

感染症対策として、小・中学校のトイレを乾式化・洋式化します。

- ◆ 令和3年度改修対象：燕西小学校、小池小学校、大関小学校、分水北小学校、分水小学校、島上小学校、燕北中学校
- 【担当課】学校教育課



地域と連携した教育の推進

地域に根ざす学校応援団事業 (拡) 【予算額】 1,107万円 (予算書P.171)

地域全体で学校の教育活動を支援していただいている「地域に根ざす学校応援団」を、段階的にコミュニティー・スクール(学校運営協議会)として再組織化し、学校と地域との連携・協働をさらに強化します。

- ◆ 令和3年度コミュニティー・スクール導入モデル校：小池中学校、小池小学校、大関小学校
- 【担当課】学校教育課

- ①子どもたちが、思いっきり遊びながら成長できる施設の整備を目指します。
- ②子どもたちが、安全・安心に過ごせる保育環境の充実を図ります。

子育て支援サービスの充実

全天候型子ども遊戯施設整備事業 **新** 【予算額】 100万円 (予算書P.105)



他施設の例 (イメージ図・わくわくヒルズ (阿賀野市) のフロアマップより)

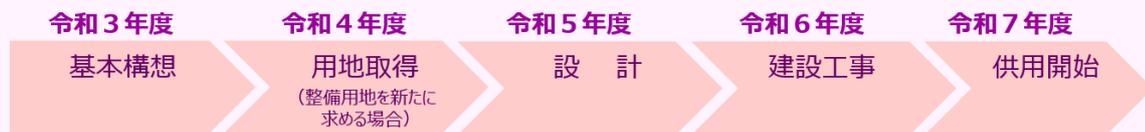
季節や天候に関わらず、子どもたちが体を使って思いっきり遊ぶことができる全天候型の屋内遊戯施設の整備に向け検討を開始し、令和7年度までのオープンを目指します。令和3年度は、子育て世代等に対し、どのような設備が欲しいかなどのアンケートやヒアリングを行った上で、施設の機能や規模などの基本的事項をとりまとめた基本構想を策定します。

【担当課】子育て支援課

令和3年度に策定する基本構想の項目

- ①立地場所、②施設整備の基本的な考え方、③施設構成、④施設整備の進め方、⑤施設運営の考え方、⑥概算事業費、⑦財源

整備スケジュール案



保育環境・サービスの充実

東児童センター改修事業 **新** 【予算額】 8,333万円 (予算書P.99)

老朽化した設備を改修します。

- ◆外壁、電気設備、冷暖房設備等の改修、トイレの乾式化・洋式化
- 【担当課】子育て支援課



なかまの会の児童クラブ化推進事業 **拡** 【予算額】 3,275万円 (予算書P.101)

既存のなかまの会 (5か所) について順次、児童クラブ化を進めます。

◆燕南小学校区

【事業期間】令和2～3年度

令和4年度開設に向けた改修工事

◆燕北小学校区

【事業期間】令和3～4年度

令和5年度開設に向けた設計

【担当課】子育て支援課

- ③多様なニーズに対応した、きめ細かな子育て支援サービスを提供します。
- ④既存の対面での子育て相談に加え、オンライン相談体制を整備し、保護者の利便性向上を図ります。

きめ細かな子育て支援

発達支援コーディネーター育成事業 **新** (療育支援事業)

【予算額】6万円 (予算書P.103)

幼稚園、保育園、認定こども園において、特別な配慮を要する子どもとその保護者への支援を強化するため、主査保育士を対象とした発達支援コーディネーター育成研修を実施します。

【担当課】子育て支援課

子育てコンシェルジュ育成事業 **拡** (子どもの居場所運営事業)

【予算額】100万円 (予算書P.99)

子育て支援センター等の施設において、国が定める研修を修了した「子育てコンシェルジュ」による相談体制の充実と関係機関との連携体制の強化を図ります。

◆オンライン子育て相談

【担当課】子育て支援課

病児・病後児保育事業

【予算額】2,230万円 (予算書P.103)

病気の児童や回復期にある児童を小児科医院に併設した保育施設で預かります。

【担当課】子育て支援課

子育て情報の発信強化

子育てアプリ事業

【予算額】70万円 (予算書P.105)

妊娠中の健康記録や子どもの成長記録、予防接種のスケジュール管理、市からのお知らせ、イベントの情報の取得などができる「燕市子育てアプリ はぐはぐ」を提供し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援します。 【担当課】子育て支援課



地域社会が連携した子育て支援

つばめ子育て応援カード事業

【予算額】81万円 (予算書P.105)

妊婦及び中学生以下の子どもをもつ保護者を対象に、協賛店での割引や特典を受けることができる「つばめ子育て応援カード」を発行し、地域や社会全体で子育て家庭を応援します。 【担当課】子育て支援課



母子保健の充実

育児教室・育児相談会 **拡** (母子保健衛生事業)

【予算額】258万円 (予算書P.115)

子育てにおける保護者の不安や悩みごとに対し、相談会や教室を開催します。

- ◆ハッピーベビークラブ
- ◆2か月育児児相談会 ◆親子のびすく教室
- ◆療育相談会 ◆オンライン子育て相談
- ◆オンライン離乳食グループ相談会

【担当課】健康づくり課

不妊治療助成事業 **拡**

【予算額】765万円 (予算書P.115)

特定不妊治療に要する費用の助成について、国の支援制度拡充に合わせて、助成対象や助成回数などを拡充し、経済的な負担を軽減します。

【担当課】健康づくり課

不育症治療助成事業

【予算額】64万円 (予算書P.115)

不育症と診断された人を対象に、検査及び治療費を助成します。

【担当課】健康づくり課



- ①看護師不足の解消と人材の地元定着を図るため、看護学生の修学を支援します。
- ②感染症のリスク管理のための助成を行い、市民の生活と高齢者福祉施設の継続運営を支援します。

看護師確保に向けた支援

看護職員修学資金貸付事業 **新**

【予算額】301万円 (予算書P.119)

令和5年度開院予定の県央基幹病院をはじめとした県央地域における看護師不足の解消と人材の地元定着を図るため、県や県央地域の自治体と連携し、地元で看護師を目指す学生に対して修学資金の貸し付けを行います。貸し付けた修学資金は、卒業後、市が指定する医療施設に5年間継続して勤務した場合、返還を免除します。

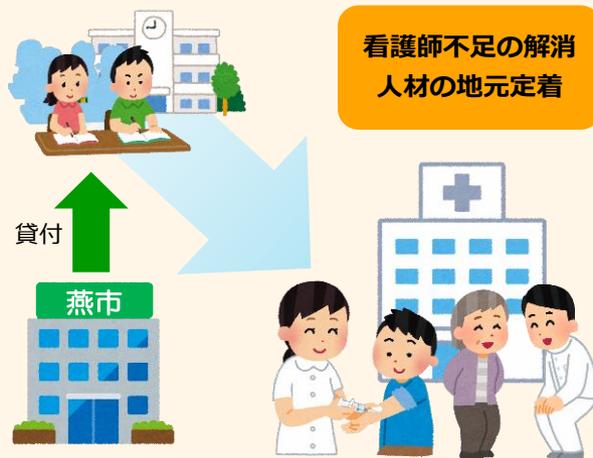
◆募集人数：5名程度

◆貸与月額：5万円以内

◆指定医療施設：県央基幹病院、

燕市内の病院及び介護医療院

【担当課】健康づくり課



ワクチン接種体制の整備

新型コロナウイルスワクチン接種事業 **新**

【予算額】3億204万円 (予算書P.113)

国の予防接種法に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的にワクチン接種を実施します。

【担当課】健康づくり課



不妊・不育治療への支援

不妊治療助成事業 **拡**

【再掲34ページ】

【担当課】健康づくり課

不育症治療助成事業

【再掲34ページ】

【担当課】健康づくり課



感染症対策の継続

市民向けPCR検査費用助成事業 **新**

【予算額】500万円 (予算書P.111)

受験や冠婚葬祭、里帰り出産など、やむを得ない事情で感染症が拡大している地域と往來をする市民を対象に、PCR検査費用の一部を補助します。

◆補助率：1検体あたり3/4
(最大1万円)

【担当課】健康づくり課



介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業 **新**

【予算額】800万円 (予算書P.89)

重症化のリスクが高い高齢者が利用する介護サービス事業所において、従事者や新規利用者などのPCR検査費用の一部を補助します。

<事業所向け>

◆補助率：1検体あたり3/4 (最大1万円)

◆上限額：従業員数に応じ30~100万円

<利用者向け>

◆補助額：1検査あたりの自己負担を2千円とし、それを超える部分を補助

【担当課】長寿福祉課

- ①健康増進と介護予防の一体的な実施により、高齢者の健康と自立した生活を支えます。
- ②各種医療費助成や医療費適正化を推進し、経済的な負担を軽減します。
- ③介護人材の確保・定着を図り、必要な介護サービスが受けられる体制を整えます。

高齢者の健康な暮らしづくり

人生100年時代の健康サポート事業 **⑧** 【予算額】434万円 (予算書P.117)

高齢者の心身の課題に対して、細やかな支援を実施するため、保健事業と介護予防を一体的に取り組みます。

◆糖尿病重症化予防事業

糖尿病重症化のリスクが高い人を対象に、医療専門職が訪問し保健指導や医療機関への受診勧奨を実施

◆脳梗塞再発予防事業

◆骨折・骨粗しょう症重症化予防事業

◆口腔保健対策事業

◆健康づくりマイストーリー運動との連携

【担当課】健康づくり課



自立支援ケアプラン研修会 **新** (地域リハビリテーション活動支援事業)

【42ページ参照】

【担当課】長寿福祉課

医療費の負担軽減・適正化

妊産婦医療費助成事業

【予算額】2,881万円 (予算書P.113)

妊産婦が負担する医療費について、その全額を医療機関の窓口で助成し、経済的な負担を軽減します。【担当課】保険年金課

子ども医療費助成事業

【予算額】2億1,692万円 (予算書P.113)

高校卒業までの子どもを対象に、医療費の一部を助成します。【担当課】保険年金課

残薬・ポリファーマシー対策事業 (保健事業費)

【予算額】76万円 (予算書P.249)

多種類の薬剤を処方されている国民健康保険の加入者に対して、服薬管理の推進と医療費の適正化を図ります。

◆節薬バッグによる処方量の調整

◆服薬情報のお知らせによる多剤処方の改善
(新潟県後期高齢者医療広域連合との連携で後期高齢被保険者も対象)

【担当課】保険年金課



介護人材の確保・定着

介護職員研修費等助成事業 (介護人材確保育成事業費)

【予算額】173万円 (予算書P.289)

介護資格の取得経費や研修受講費の一部を助成し、介護人材の確保・定着及びキャリアアップ支援と、介護サービスの質の向上を図ります。

【担当課】長寿福祉課



介護職員表彰事業

【予算額】11万円 (予算書P.289)

介護業務に精勤する職員の表彰を通して、人材の定着を図ります。

【担当課】長寿福祉課



- ①移動支援や医療費助成を推進し、障がい者の経済的な負担を軽減します。
- ②個々の障がい者の生き方に応じた多様なニーズに対応するため、相談支援や就労支援の充実を図ります。

経済的な負担の軽減

障がい者タクシー利用料金助成事業 **拡**
(身体障がい者福祉事業)
【予算額】1,820万円 (予算書P.85)

身体障がい者等への移動支援の充実を図るため、タクシー利用券の1枚あたりの助成額や交付枚数を見直し、助成総額を増額します。

◆助成総額：最大15,000円

【担当課】社会福祉課



成年後見人申立費用助成金 **拡**
(地域生活支援事業費)
【42ページ参照】

【担当課】社会福祉課

重度心身障がい者医療費助成事業
【予算額】1億6,076万円 (予算書P.89)

障がい者の経済的な負担を軽減するため、医療費の一部を助成します。

【担当課】保険年金課

ライフステージに応じた支援

発達支援コーディネーター育成事業 **新**
(療育支援事業)
【再掲34ページ】

【担当課】子育て支援課



障がい児通所支援費支給事業
【予算額】1億9,063万円 (予算書P.91)

障がい児の成長段階に合った訓練や交流の促進など、個々の特性にあったサービスを提供することで生活能力の向上を図ります。

【担当課】社会福祉課

障がい者基幹相談支援センター運営事業
(地域生活支援事業)
【予算額】5,275万円 (予算書P.89)

障がい者への相談支援体制の整備として、基幹相談支援センターと相談支援事業所がそれぞれの機能を有効に発揮できるよう体制の充実を図ります。

◆相談支援事業所の機能強化

◆相談支援体制の推進

【担当課】社会福祉課



就労に向けた支援

就労継続支援A型・B型事業
(障がい者介護給付費支給事業)
【予算額】4億1,555万円 (予算書P.91)

企業などでの就労が困難な障がい者に対して就労の機会を提供し、作業を通じて知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。

【担当課】社会福祉課

ペットボトルリサイクル推進事業
小型家電リサイクル推進事業
(障がい者就労支援事業)
【48ページ参照】

【担当課】生活環境課



- ①働き盛り世代や子育て世代の転入者等に対し、燕市での住宅取得を支援することで定住化を図ります。
 ②U・Iターンの希望者に対して、暮らしや仕事などニーズに沿った情報提供や助成を行い、燕市への移住を促進します。

移住・定住の促進

つばめ移住・定住促進事業(拡) 【予算総額】 2,280万円 (予算書P.65)

燕市への移住等に関する情報の発信、相談窓口の運営やニーズを踏まえたツアーの実施などの移住希望者へのサポートや、テレワークなどによるU・Iターン者等を対象とした家賃補助、移住経費の助成を実施します。《次の取組により実施》



【担当課】地域振興課

移住・定住者向け補助制度

★移住者住宅支援事業補助金(拡)

県外からのU・Iターン者や市外からの新婚世帯等を対象に家賃を補助します。

- ◆補助額 家賃の1/2補助
 上限額1万5千円(月額) 2年間
 ※県外から移住したテレワーカーにも対象拡大

★テレワーカー交通費補助金(新)

テレワーク拠点から本社等までの交通費を補助します。

- ◆補助額 交通費の1/2補助
 上限額1万円(月額) 1年間(月4回)

★移住・就業等支援事業補助金(拡)

東京圏からの就業者等を対象に移住費用を補助します。

- ◆補助額 単身移住60万円・世帯移住100万円
 ※テレワーカー、関係人口(つばめいとやつばめサポートクラブ会員)等にも対象拡大

移住希望者へのサポート

★移住・定住総合相談

オンラインでも移住相談を受け付けます。

★移住希望者向けツバメビト移住ツアー

県外からの参加者の交通費を補助します。
 ◆補助額 交通費の1/2補助 上限額1万円

★滞在型のおためし生活体験(新)

ツバメビト移住ツアーの中で、一般家庭でおためし生活体験ができる滞在型のメニューです。

★おためし地域おこし協力隊(新)

協力隊希望者が、事前に受入先で2泊3日の活動体験ができます。
 ※宿泊費・体験費は市が全額負担

ふるさと燕若者応援事業

【予算額】 78万円 (予算書P.67)

県外在住の燕市出身の若者による交流組織「つばめいと」の運営を行い、出身者の郷土愛を育むとともに、Uターン就職を支援します。

- ◆燕市に関わる若者交流会の開催
 - ◆会員等によるU・Iターン勉強会の開催
 - ◆つばめいとOB・OGによるオンライン相談会
- 【担当課】地域振興課



転入者への住宅取得支援

移住家族支援事業(拡)

【予算額】 3,500万円 (予算書P.159)

市外からのU・Iターン希望者や働き盛り世代などの転入に対する住宅取得費の一部を助成します。

- ◆上限額 100万円(基本額10万円+加算額)
- ◆加算項目

居住誘導区域内定住、中古住宅取得、多子世帯、新婚世帯、空き家バンク利用、市内建築業者元請、市内不動産業者との売買・仲介
 テレワーク勤務利用者

※転入2年以内の賃貸住宅

居住者等も対象

【担当課】都市計画課



まちなかへの定住促進

定住家族支援事業

【予算額】 750万円 (予算書P.159)

居住誘導区域である市街地中心部への定住を促進させるため、住宅取得費の一部を助成します。

- ◆上限額 25万円(基本額10万円+加算額)
 - ◆加算項目 土地を購入し建築、中古住宅取得、多子世帯、新婚世帯 など
- 【担当課】都市計画課

- ①健康診査や各種検診などの体制を整備し、疾病の早期発見・早期治療に結びつけます。
- ②運動・食生活・こころの健康など総合的な健康増進のための取組を推進し、市民主体の健康づくりを展開します。

健診体制の充実

ワンコインがん検診の開始 **新**

(健(検)診事業)

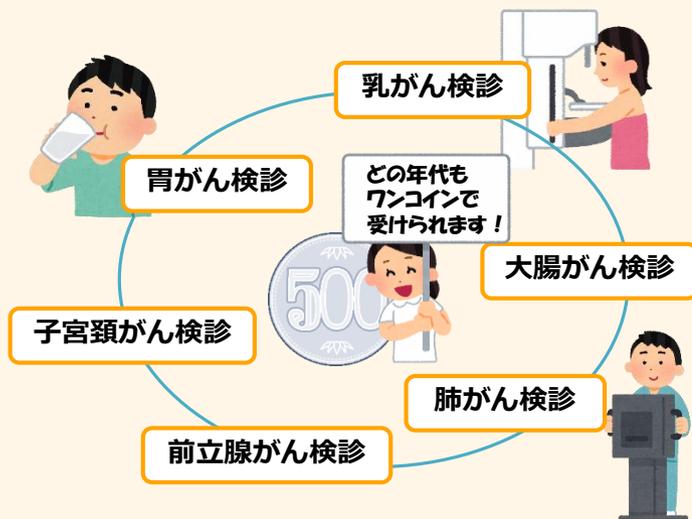
【予算額】1億446万円(予算書P.115)

検診の受診率向上を図るため、各種がん検診について、どの年代でも分かりやすく、若い年代でも受けやすい料金体系として、自己負担が一律500円で受けられるワンコインがん検診を開始します。

◆料金変更例

・胃がん検診	: 800円 ⇒ 500円
・子宮頸がん検診	: 1,100円 ⇒ 500円
合計	: 1,900円 ⇒ 1,000円

【担当課】健康づくり課



健康診査等予約システムの導入 **新**

(健(検)診事業)

【予算額】875万円(予算書P.115)

感染症拡大防止のため完全予約制での健診等の実施にあたり、パソコンやスマートフォンからいつでも、どこからでも予約が可能なシステムを導入し、利便性の向上を図ります。

【担当課】健康づくり課、

保険年金課



妊婦健康診査費補助金 **拡**

(母子健康診査事業)

【予算額】107万円(予算書P.115)

出産を控えた妊婦の経済的負担の軽減を図るため、15回目以降の妊婦健康診査にかかる費用を補助します。

◆補助額：一回につき5,060円

【担当課】健康づくり課



市民が主役の健康づくり

つばめ元気ががやきポイント事業 (健康づくりマイストーリー運動) (介護予防普及啓発事業費)

【予算額】328万円(予算書P.117, 295)

健康行動の習慣化のため、一人ひとりが自分のペースで、いつでも気軽に取り組める健康づくり運動を展開します。

「人生100年時代の健康サポート事業」(36ページ参照)と連動し、介護予防の普及啓発も実施します。

【担当課】健康づくり課、
長寿福祉課



生活習慣病改善指導事業

【予算額】ゼロ予算

生活習慣病のハイリスク者や健診結果を改善したい人を対象に、個別支援の充実を図ります。リバウンドしにくいダイエットの実施で生活習慣の改善を推進します。

【担当課】健康づくり課



- ①スポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツを楽しめる環境整備に努めます。
- ②東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、市民と一体となって、大会を盛り上げます。
- ③子どもたちの運動能力と体力の向上を目指すとともに、地域と連携して競技力の向上を図ります。

スポーツ交流の推進

燕さくらマラソン大会 (生涯スポーツ振興費)

【予算額】 2,138万円 (予算書P.209)

ランナーの皆さんがウィズコロナでも安心して参加できるよう、県内在住者の参加に限定するほか、全種目で定員設定をするなど、感染症対策を講じて開催します。

◆期日：4月17日(土)
【担当課】社会教育課



ホストタウン推進事業(拡)

【予算額】 2,053万円 (予算書P.211)

モンゴル国パラアーチェリー選手団のパラリンピック直前合宿を受け入れるほか、聖火リレーなど、東京2020オリンピック・パラリンピックの関連イベントを、新型コロナウイルス対策を講じた上で実施します。また、小・中学生を対象に、パラスポーツの

体験教室や、トッパアスリートによるスポーツ教室等を開催します。

【担当課】社会教育課



スポーツ環境の整備

分水総合体育館改修事業(新)

【予算額】 6億3,588万円 (予算書P.213)

【事業期間】 令和2～3年度

指定避難所でもある分水総合体育館の改修工事を行います。

- ◆天井耐震、内外装、トイレ洋式化、LED化等
- 【担当課】社会教育課



スポーツパークテニスコート改修事業(新)

【予算額】 1億7,328万円 (予算書P.213)

【事業期間】 令和2～3年度

老朽化した設備の改修工事を行います。

- ◆地盤改良、人工芝張替、ナイター設備LED化、防球フェンスの設置等
- 【担当課】社会教育課



燕市民武道館改修事業(新)

【予算額】 9,599万円 (予算書P.213)

【事業期間】 令和2～3年度

練習環境の向上を図るための改修工事を行います。

- ◆トイレ洋式化、空調設備設置等
- 【担当課】社会教育課

小中川小学校グラウンド

バックネット等整備事業(新)

【予算額】 6,360万円 (予算書P.213)

小中川コミュニティセンター(ソフトボール場)の機能を、小中川小学校に移設します。

- ◆バックネット、防球ネットの設置等
- 【担当課】社会教育課

子どもの体力・技術力の向上

子どもの体力向上サポート事業 (生涯スポーツ振興費)

【予算額】 11万円 (予算書P.209)

小学校の体育授業に体力向上プログラム(ヘキサスロン)を活用し、子どもの体力の向上を図ります。

【担当課】社会教育課



つばくろいきいきスポーツクラブ事業 【再掲31ページ参照】

【担当課】学校教育課

- ①図書館サービスの充実を図るとともに、社会教育施設の充実により市民の生涯学習を推進します。
- ②さまざまな芸術文化に触れる機会を提供し、市民の主体的・創造的な活動を振興します。

生涯学習活動の充実

図書館サービスの充実事業 **⑧** (図書館管理運営費)

【予算額】1億579万円 (予算書P.199)

既存の図書館サービスの向上を図るとともに、いつでもどこからでも利用できる「電子図書館」や、読んだ本の履歴を残すことができる「本の通帳」の運用など、充実した図書館サービスを提供します。【担当課】社会教育課



◆電子図書館



◆本の通帳

生涯学習活動の推進

生涯学習人材バンク事業 【予算額】ゼロ予算

専門的知識や技能・学習経験などを持っている市民を講師として登録し、学校や地域の団体・サークルなど、支援を必要とする人に紹介します。【担当課】社会教育課

芸術文化活動の振興

文化会館自主事業

【予算額】2,369万円 (予算書P.201)

市民参加型の成果発表に加え、子どもから高齢者まで、幅広い世代が楽しめる舞台芸術等を提供します。



- ◆6月：市内小学校合同演劇鑑賞会
 - ◆11月：劇団四季ファミリーミュージカル
 - ◆11月：つばめ音楽祭
 - ◆11月：燕市文化協会との共催発表会 (2月にも開催)
 - ◆時期未定：立川談春独演会 等
- 【担当課】社会教育課

燕市美術展覧会開催事業(文化振興事業) 【予算額】176万円 (予算書P.205)

日ごろの美術活動に対して発表の機会と場を提供し、市民の文化・芸術活動の振興を図ります。

【担当課】社会教育課



郷土の宝の保護・活用

長善館史料館活性化事業 **⑧** (長善館史料館管理運営費)

【予算額】713万円 (予算書P.203)

令和2年度に完成したPR動画や筑波大学との連携による歴代館主日記抄を活用し、入館者の増加に向けた企画に取り組みとともに、大河津分水路の建設に携わった門下生と長善館における教育内容の調査研究を新たにいきます。

【担当課】社会教育課



社会教育施設の充実

吉田公民館改修事業 **⑨**

【予算額】191万円 (予算書P.197)

【事業期間】令和3～4年度

老朽化した吉田公民館を改修します。

- ◆令和3年度は設計業務 (内装・外部建具・エレベーター 等)

【担当課】社会教育課



- ①誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の支え合い体制づくりに取り組みます。
- ②生活困窮者の自立支援や、子どもの貧困の連鎖防止に向けた子どもたちの成長を地域ぐるみで支える取組を進めます。
- ③市民と行政が協働でまちづくりを行う意識醸成と環境整備を図り、地域での「共助」による助け合いを促進します。

支え合いの地域福祉

自立支援ケアプラン研修会 **新** (地域リハビリテーション活動支援事業) 【予算額】 12万円 (予算書P.295)

介護サービス事業所及びケアマネージャーを対象に、日常生活での自立と介護予防に向けたより効果的なケアプランを、リハビリ専門職の助言を受けながら作成する研修会を実施します。



【担当課】長寿福祉課

成年後見人申立費用助成金 **拡** (地域生活支援事業) (任意事業費) 【予算額】 障がい者 15万円 (予算書P.91) 高齢者 15万円 (予算書P.297)

成年後見制度の利用にあたり、市長が申し立てる場合に加え、親族が申し立てる場合についても申立に係る費用を助成し、申立費用負担の軽減と制度の利用促進を図ります。

- ◆対象経費：鑑定費用、診断書作成費用、印紙代、申立用切手代

【担当課】社会福祉課、長寿福祉課

生活困窮者自立支援事業

【予算額】 431万円 (予算書P.107)

生活困窮者への包括的な支援を行い、社会的・経済的な自立を促します。

- ◆就労に向けた生活習慣の確立支援
- ◆家計改善に関する助言・指導
- ◆子どもたちへの学習・生活環境改善支援

【担当課】社会福祉課



子どもの貧困対策

子どもの居場所づくり支援事業

【予算額】 24万円 (予算書P.105)

子ども食堂などの、食事や学びの場を提供する団体に助成金を交付し、安定した運営の継続を支援するとともに、支援者の拡大を図るための講演会等を実施します。

【担当課】社会福祉課

子ども家庭相談支援事業

【予算額】 28万円 (予算書P.83)

複雑・多様化する悩みごとに対し、保護者へのアンケートを実施し、相談希望者には弁護士による相談会などにつなげ、解決に結びつけます。

【担当課】社会福祉課



市民協働のまちづくり

まちづくり協議会支援事業

【予算額】 1,280万円 (予算書P.63)

地域コミュニティ醸成のため、まちづくり協議会に対して運営経費の財政支援と、情報提供や活動相談、情報発信などの支援を行います。

【担当課】地域振興課

協働のまちづくり推進事業

【予算額】 171万円 (予算書P.63)

まちづくり基本条例の理念に則り、市民協働の気運醸成や、市民自らが実施する公益的な活動に対する事業費の助成、情報提供などの支援を行います。

【担当課】地域振興課



多文化共生の推進 (外国人が安心して暮らせる環境づくり)

外国人交流会の開催 (地域振興一般経費)

【予算額】 30万円 (予算書P.61)

外国人と地域住民が互いに理解を深めることを目的に交流会を開催します。

【担当課】地域振興課



- ①若者の夢への挑戦や地域貢献活動への参画をしやすい環境づくりを行い、若者によるまちづくり活動の活発化を図ります。
 ②男女が互いを尊重する男女共同参画社会の実現を目指すとともに、女性の活躍を支援します。

若者の活動の活発化

つばめ若者会議事業 **拡** 【予算額】 140万円 (予算書P.63)

「燕ジョイ活動部」や「燕市役所まちあそび部」をはじめとする若い世代によるまちづくりを促進するため、主体的にまちづくり活動に取り組む若者たちをサポートします。

- ◆ウェブサイト・SNSを活用した情報発信
- ◆全体会議・活動報告会の開催
- ◆若者との協働に対する地域(団体)・職員向け協働セミナーの開催

【担当課】 地域振興課



羽ばたけつばくろ応援事業 【再掲31ページ参照】

【担当課】 学校教育課

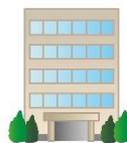


女性が活躍しやすい環境づくり

つばめ子育て応援企業サポート事業 【予算額】 133万円 (予算書P.67)

積極的に仕事と子育てが両立できるような職場環境づくりを進める企業を「つばめ子育て応援企業」に認定し、取組に応じて助成等を行います。

- ◆つばめ子育て応援企業認定
 - ・ハッピー・パートナー企業が子育て応援プラス認定を取得した場合：2つ星認定
 - ・ハッピー・パートナー企業がイクメン応援プラス認定を取得した場合：3つ星認定
- ◆認定企業に対する特典
 - ・男性の育児休業取得促進奨励金
 - 男性従業員：5万円
 - 事業主：2つ星認定7万円
3つ星認定7又は15万円(育休期間による)



【担当課】 地域振興課



認定マーク▶



女性が輝くつばめプロジェクト推進事業 **拡** 【予算額】 195万円 (予算書P.63)

女性を含む多様な人材が活躍できること(ダイバーシティ)を目的としたフォーラムの開催や新たな補助金の創設により、女性が輝いて活躍しやすい職場環境づくりを進めます。

★みんなが活躍できる職場環境づくり推進補助金 **新**

就業規則や社内制度の改善に対し補助します。

- ◆対象経費：社労士委託費、コンサル委託費等
- ◆補助割合：
 - 子育て応援企業 2/3以内 (上限額20万円)
 - 上記以外の企業 1/2以内 (上限額10万円)

★女性活躍・ダイバーシティフォーラムの開催

★つばめ輝く女性表彰の実施

【担当課】 地域振興課

男女共同参画推進事業 【予算額】 103万円 (予算書P.63)

「第3次燕市男女共同参画推進プラン」に基づき、性別にとらわれず多様な生き方ができる社会を目指し、講座の開催や総合相談窓口を開設します。

◆第4次プラン策定に向けた市民意識調査

【担当課】 地域振興課

- ①「産業観光」を観光の柱に位置付け、交流・応援(燕)人口の拡大を図ります。
- ②観光資源の魅力を戦略的にプロモーションし、国内外からの観光客の増加を目指します。
- ③隣接する自治体と連携し、宿泊・滞在型の着地型観光を推進します。

産業観光拠点の機能強化

産業史料館受入体制の整備 **拡**
(産業史料館施設管理運営費)

【予算額】 3,473万円 (予算書P.145)

★ものづくり体験の強化 **拡**

★修学旅行向け学習ハンドブック等の作成 **新**

日本の伝統工芸士で、元玉川堂の職人を指導者に加え、ものづくり体験を強化するとともに、修学旅行生をはじめとした児童・生徒向けに、学習効果を高める学習ハンドブックを作成します。

【担当課】 観光振興課



産業史料館企画展開催事業 (産業史料館運營業務委託事業)

【予算額】 380万円 (予算書P.147)

来館者の増加を図るため、魅力的な企画展を開催します。

- ◆デザイン「フレーム」展 (4月～)
- ◆世界に翔く燕展 (6月～)
- ◆小林工業株式会社展 (8月～)
- ◆松浦靖 世界のスプーン展 (10月～)
- ◆キャディスプーン展 (12月～)
- ◆水燕鎚工会作品展 (R4年2月～)

※開催時期はR3.2現在の予定

【担当課】 観光振興課



着地型観光の推進

教育旅行エージェント向けプロモーション (燕・弥彦広域観光連携事業) **新**

【予算額】 200万円 (予算書P.143)

食事や宿泊を地域で行う体験型修学旅行の誘致を弥彦村と共同で行います。

【担当課】 観光振興課



広域連携観光プロモーション事業 (観光推進費)

【予算額】 190万円 (予算書P.143)

【事業期間】 令和2～4年度

訪日外国人の関心が高い、包丁・ナイフ・鋳物の産地や国と連携し、広域観光プロモーションを実施します。

- ◆国土交通省、燕市、三条市、高岡市、越前市、燕三条地場産業振興センターで連携

【担当】 観光振興課

つばめ産業観光推進事業 (観光推進費)

【予算額】 961万円 (予算書P.143)

団体旅行や団体視察で来燕する人に、外国語に対応した観光ナビゲーターを活用し、燕市の魅力を発信します。

【担当課】 観光振興課



産業観光受入体制整備事業

【予算額】 140万円 (予算書P.145)

ものづくり現場の製造工程等を公開するための資料制作費・施設改修費を補助し、オープンファクトリーの増加を目指します。

- ◆産業観光受入体制整備事業補助金 (見学者用説明資料制作費/案内者用説明備品購入費/施設改修費) 【担当課】 観光振興課

- ①交流・応援(燕)人口の拡大を図るため、燕市の魅力を全国に発信する取組を展開します。
- ②大河津分水通水100周年を契機に、先人たちの功績を学び郷土への愛着を高めながら、市の魅力を発信します。

燕市のファンづくり

ふるさと燕応援事業(拡)

【予算額】7億円(予算書P.57)

ふるさと燕応援寄附金のお礼の品として魅力的な地場産品を贈呈することにより、燕市を全国に



PRし、交流・応援(燕)人口の拡大を目指すとともに、市産品の需要拡大を図ります。

- ◆お礼の品を通じた燕市の魅力発信
- ◆寄附受付サイトの追加導入
- ◆ウェブプロモーションによる

新たなファンづくり

【担当課】総務課

自治体クラウドファンディング事業

(自治体クラウドファンディング事業、基金積立金)

【予算額】20億円(予算書P.57)

スポーツ施設の改修等に要する経費をクラウドファンディングで調達します。【担当課】総務課

燕ファンづくり推進事業

【予算額】964万円(予算書P.63)

東京ヤクルトスワローズとの連携により、燕市の魅力を広く発信します。

【担当課】地域振興課



シティプロモーション事業(拡) 【予算額】1,700万円(予算書P.67)

市のイメージや知名度を高めるため、ものづくり産業、観光資源、歴史・文化等をメディアやSNSを活用して市内外に効果的・戦略的に発信します。

- ◆動画やLINE等の公式SNSによる情報発信強化
- ◆地域活性化起業人による情報発信強化
- ◆リニューアルした公式ウェブサイトによる情報発信強化

【担当課】広報秘書課



大河津分水通水100周年に向けた取組

大河津分水通水100周年記念プレ事業(新) 【予算額】1,583万円

令和4年度の大河津分水通水100周年に先立ち、大河津分水路の歴史や建設に尽力した長善館門下生の活躍にフォーカスし、プレイベントなどを通じて気運の醸成を図ります。

★桜復活プロジェクト(土木総務費)

【予算額】10万円(予算書P.151)

かつての桜並木を復活させるため、苗木の植樹事業の検討を行います。

【担当課】土木課

★タイムカプセルリレー

【予算額】ゼロ予算

20年後の自分・まちに向けたメッセージをタイムカプセルで送るとともに、通水80周年時に埋めたタイムカプセルの開封イベントを検討します。【担当課】地域振興課

★情報発信事業(土木総務費、観光推進費 他) 【予算額】965万円(予算書P.151、143 他)

さくらフェス等各種イベントで周知活動を行います。【担当課】土木課、観光振興課、地域振興課 他

★CHOZENプロジェクト(学校教育管理費、長善館

史料館管理運営費 他) 【予算額】308万円

(予算書P.171、203 他)

大河津分水路と長善館の関わりを学び、地域教育の強化を行います。

【担当課】学校教育課、社会教育課、地域振興課

★新商品新技術開発支援事業

【再掲28ページ参照】【予算額】300万円

通水100周年を市内外にPRできる商品の開発等を支援します。【担当課】商工振興課



- ①防災情報の配信強化、避難所の感染症対策、木造住宅の耐震化を推進するなど、防災・減災対策の強化を図ります。
- ②市内全域の防災力を高めるため、自主防災組織活動の支援、総合防災訓練を通じて、市民主体の防災活動を推進します。
- ③安全・安心なまちづくりの実現のため、犯罪抑止対策と消費者トラブルの未然防止に取り組みます。

防災・減災体制の強化

避難所感染症対策事業 **新** (災害対策事業)

【予算額】 315万円(予算書P.165)

避難所の感染症対策として、消毒液、パーティション等の物資を備蓄するとともに、避難所で高齢者、妊産婦等の要配慮者を感染から守り医療活動等も可能なテントユニットを整備します。

【担当課】 防災課



木造住宅耐震化事業 **拡** (建築総務費)

【予算額】 600万円(予算書P.159)

耐震性の低い木造住宅の耐震化を促進するため、耐震化の設計改修や耐震建替費用への助成を利用しやすく変更します。

◆設計改修：補助率4/5 上限額120万円

◆建替： 補助率4/5 上限額 60万円

【担当課】 営繕建築課



固定電話への防災情報配信事業 **新**

【予算額】 116万円(予算書P.167)

75歳以上の高齢者のみの世帯などを対象に、避難所開設等の防災情報を固定電話に音声メッセージでお知らせします。

【担当課】 防災課



犯罪の抑止対策

防犯カメラ設置補助事業 (防犯事業費)

【予算額】 120万円(予算書P.59)

防犯組合が設置する防犯カメラの費用の一部を助成します。

◆補助率：2/3

◆上限額：8万円 【担当課】 生活環境課



消費者行政の推進

消費生活相談窓口事業 (戸籍住民基本台帳費)

【予算額】 13万円(予算書P.73)

消費生活相談体制の充実とトラブル防止の啓発に取り組みます。

【担当課】 市民課



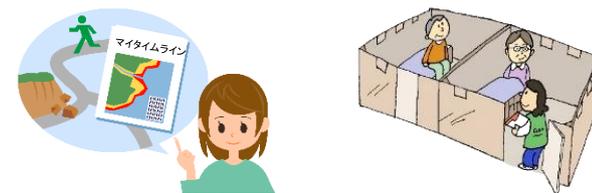
地域に根差した防災活動

総合防災訓練事業 **拡**

【予算額】 ゼロ予算

市民一人ひとりが円滑かつ迅速な対応が取れるよう、マイ・タイムラインを活用した水害対応の総合防災訓練を行います。さらに、感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルに基づき、市職員と地域住民が協働して取り組む避難所運営訓練を行います。

【担当課】 防災課



地域防災活動推進事業 (災害対策事業)

【予算額】 107万円(予算書P.165)

自主防災組織などが行う防災活動を支援するとともに、地域の防災リーダーを養成するなど、市民主体の防災活動を推進します。

◆地域防災活動経費補助

◆防災資機材整備補助

◆自主防災組織研修

【担当課】 防災課



- ①公共交通に関する利用状況や市民ニーズを把握し、効率的で利便性の高い公共交通環境を提供します。
- ②車道と分離した歩道や転落防止柵・防護柵の整備など、交通安全に関する施設の整備や道路安全対策を進めます。
- ③高齢者の関与する交通事故を未然に防ぐため、実効性のある対策を重点的に実施します。

公共交通網形成計画の推進

新規バス路線導入事業 臨 (公共交通運行事業)

【予算額】 801万円 (予算書P.81)

利便性の高い公共交通ネットワークの形成に向け、燕地区においてコミュニティバス実証運行を引き続き行います。

◆実証運行ルート

燕駅～大曲～燕三条駅～
燕労災病院～新生町
【担当課】 都市計画課



循環バス運行事業 (公共交通運行事業)

【予算額】 1,197万円 (予算書P.81)

燕市内を運行する「スワロー号」及び弥彦村との間を運行する「やひこ号」の両バス路線を運行します。【担当課】 都市計画課

予約制乗合ワゴン車運行事業 拡 (公共交通運行事業)

【予算額】 4,080万円 (予算書P.81)

予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」を、燕市・弥彦村全域で運行します。◆ナビシステムの導入



【担当課】 都市計画課

交通安全施設の整備

吉田東通り自歩道整備事業 新

【予算額】 600万円 (予算書P.157)

【事業期間】 令和3～4年度

吉田南小学校の通学路となる当路線は、今後一層の交通量の増加が見込まれることから、歩道の拡幅整備を実施し利用者の安全を確保します。

◆令和3年度

測量、詳細設計 (L=300m)

【担当課】 土木課



新城新町線踏切拡幅歩道整備事業

【予算額】 1,800万円 (予算書P.157)

【事業期間】 令和2～5年度

燕市分水良寛史料館近くの小学校踏切において、踏切内の歩道整備を実施し、通学児童等の歩行者の安全を確保します。

◆令和3年度

電力・信号通信設備委託設計

【担当課】 土木課



交通安全対策の推進

高齢者運転免許自主返納支援事業 (交通安全推進事業)

【予算額】 275万円 (予算書P.79)

高齢者の加害事故防止対策の一環として、運転免許の自主返納をされた人に対し、タクシー・おでかけきららん号・スワロー号の利用券を交付します。

【担当課】 生活環境課



交通安全指導強化事業 (交通安全推進事業)

【予算額】 1,064万円 (予算書P.79)

交通安全協会や警察との連携により交通安全教室や街頭指導の充実、交通安全意識の啓発に努めます。

◆シルバーナイトスクールなど高齢者向け交通安全教室の開催

【担当課】 生活環境課



- ①循環型社会の構築に向けて再資源化の推進を図るとともに、新たな最終処分場の建設に向けた検討を開始します。
- ②生産活動に伴い発生する環境負荷を軽減する取組を支援し、地域の環境保全を推進します。
- ③市民一人ひとりの環境保全への意識を高めるため、環境美化活動への参加を促進します。

再資源化の推進

カンカンBOOK事業 (塵芥処理費、保育園運営費)

【予算額】
アルミ缶等回収費用 5万円 (予算書P.123)
図書購入費(売却益) 15万円 (予算書P.93)
市内の事業所からアルミ缶及びスチール缶を寄附していただき、資源ごみの再資源化を促進するとともに、その売却益を市内保育園等の図書購入費に活用します。

【担当課】生活環境課、子育て支援課



ペットボトルリサイクル推進事業 (障がい者就労支援事業)

【予算額】399万円 (予算書P.123)

収集したペットボトルの異物除去作業等を障がい者施設に委託することで、障がい者の就労支援とリサイクルの推進を図ります。

【担当課】生活環境課



小型家電リサイクル推進事業 (障がい者就労支援事業)

【予算額】56万円 (予算書P.123)

小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化と不燃ごみの減量化を図るため、障がい者施設と連携して、使用済小型家電製品の分別処理を行います。【担当課】生活環境課



最終処分場の建設に向けた検討

新最終処分場建設計画策定事業 新

【予算額】812万円
【事業期間】令和3~4年度

現最終処分場は早ければ令和11年度に計画埋立容量に達する見込みであるため、新しい最終処分場の建設に向けた調査等を開始します。

- ◆基本調査の実施
 - ◆一般廃棄物処理基本計画等の策定
- 【担当課】燕・弥彦総合事務組合 総務消防局

※詳細は「燕・弥彦総合事務組合
一般会計予算概要」を参照

地域の環境保全の推進

環境負荷低減対策支援事業

【予算額】1,873万円 (予算書P.141)

トリクロロエチレン等の揮発性有機化合物の適切な使用を促し、大気中への排出を抑制します。

- ◆資格取得のための講習受講料、個別指導料の補助
 - ◆回収装置等の導入費補助 補助率1/2
新設:上限額250万円
改修:上限額50万円
- 【担当課】商工振興課

もみ殻等循環支援事業 新

【予算額】180万円 (予算書P.133)

稲の乾燥調製時に発生するもみ殻や粉塵を適正に回収し、環境循環を進めるために必要な機械設備の導入に対し助成します。

- ◆もみ殻循環設備導入支援
補助率1/3、上限額15万円
- ◆粉塵等抑制設備導入支援
補助率1/3、上限額10万円

【担当課】農政課



環境美化の推進

環境美化推進イベント事業(環境衛生費)

【予算額】20万円 (予算書P.121)

家族やグループなどで楽しみながら環境美化に貢献するイベントを開催します。

【担当課】生活環境課



Let's Try Eco啓発ポスターコンクール (環境政策推進事業費)

【予算額】15万円 (予算書P.121)

小学4年生を対象に、ゴミの減量やリサイクル、省エネ等をテーマとしたポスターコンクールを関係団体と共に実施します。【担当課】生活環境課



- ①効率的で持続可能な都市形成に向け、地域住民や民間団体等と協働し、まちなか活性化と定住促進に取り組みます。
- ②空き家等対策に関係する団体と連携し、空き家等の有効活用やまちなか居住に向けた取組を推進します。

空き家解体と官民一体のまちづくり

中心市街地再生モデル事業 **新**

【予算額】515万円 (予算書P.161)

民間事業者より空き家解体を伴う中心市街地の再生プランを募集し、プランの審査・採択を行います。採択したプランは、官民連携で事業計画を練り上げ、国の交付金事業を活用しながら、複数年かけて事業の支援を行うことで、魅力的で持続可能なまちづくりを推進します。

- ◆令和3年度 学習会の開催、プランの募集と審査委員会による審査、都市再生整備計画の策定
【担当課】都市計画課



- ◆応募対象者：市内のまちづくりを目的とする企業や法人
- ◆事業要件：事業範囲の9割が都市機能誘導区域内
事業区域面積3,000㎡以上
3以上の空き家・低未利用地を活用 等
- ◆採択団体：令和3年度は1団体
- ◆補助金額：まちづくり事業経費の1/2 上限額5,000万円
- ◆活用交付金：社会資本整備総合交付金 等

プランの提案から事業実施までの想定されるスケジュール (一例)



空き家問題への対処

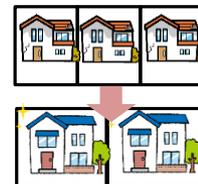
空き家跡地活用促進補助事業 **新**

(空き家等対策推進事業)

【予算額】400万円 (予算書P.161)

空き家とその周囲を一体活用することを条件に、特定空き家でなくても、一定以上の不良度がある空き家の解体について助成を行います。

- ◆補助額 空き家1件につき
解体費等の1/2
(上限額50万円)



【担当課】都市計画課

空き家等対策連絡協議会事業 **拡**

【予算額】31万円 (予算書P.161)

空き家の悩みごとに対し、オンラインでも参加できる総合相談会やセミナーを開催します。

【担当課】都市計画課

住宅関連産業の活性化

住宅リフォーム助成事業 **拡** (建築総務費)

【予算額】2,000万円 (予算書P.159)

個人住宅等のリフォーム工事に対して助成を行います。

- ◆補助額 リフォーム工事の1/10 (上限額10万円)
※過去に同事業で助成を受けた者は上限額5万円

【担当課】営繕建築課

- ①市民が安全で快適に利用することができる公園づくりのため、公園設備の計画的な更新や改修に努めます。
- ②老朽化した道路施設等の整備・修繕を計画的に行い、適正な維持管理を行います。

公園設備の更新・改修

燕市交通公園サイクルモノレール改修事業 **新** (都市公園管理費)
【予算額】1,634万円 (予算書P. 161)

公園利用者が安心して施設を利用できるよう、サイクルモノレール発着場の老朽化した屋根及び階段の改修工事を行います。

【担当課】都市計画課



安全・安心な道路環境の整備

中央通小高線道路改良事業 **新**
【予算額】1,300万円 (予算書P.157)
【事業期間】令和3～5年度

県が実施する国道289号燕北道路事業に合わせ、本路線の整備により主要地方道新潟燕線とつなぐことで、市街地の慢性的な渋滞を緩和します。

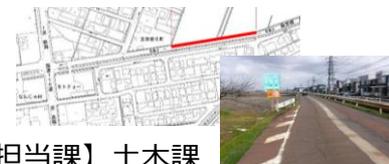
◆令和3年度 測量、詳細設計
用地測量 (L=190m)
【担当課】土木課



藤見線道路改良事業 **新**
【予算額】900万円 (予算書P.157)
【事業期間】令和3～4年度

国道116号と交差し、燕市を東西に結ぶ藤見線について、部分的に狭隘な個所を解消します。

◆令和3年度
測量、詳細設計
用地測量・買収 (L=125m) 【担当課】土木課



既存道路施設等の適正管理

修繕料 (道路維持費) 等
【予算額】6億7,735万円
(予算書P.153、155、157)

老朽化した道路施設や消雪施設について、適正な維持管理を行います。

【担当課】土木課



(単位:万円) 令和3年度 前年度比較

事業名	事業費	事業費
除排雪対策事業 (消雪パイプ維持管理業務委託料)	3,895	108
除排雪対策事業 (修繕料)	9,500	500
消雪施設整備事業 (工事請負費)	7,700	0
合計	21,095	608

(単位:万円) 令和3年度 前年度比較

事業名	事業費	事業費
道路維持費 (修繕料)	6,200	1,200
道路維持費 (道路維持修繕工事費)	3,200	▲700
道路維持費 (道路安全施設工事費)	1,400	▲100
道路維持費 (道路照明設置工事費)	900	0
幹線道路環境整備事業	5,040	▲660
道路改良事業 (市道改良舗装工事費)	11,300	1,300
下水路整備事業 (工事請負費)	9,000	▲1,000
側溝修繕事業 ※	8,500	※0
	※(3,800)	
生活道路対策側溝修繕事業	1,100	0
合計	46,640	40

※(加1)内は国の交付金(補正予算)でR2に前倒して計上した額で、事業費比較は前倒し分を含む

- ① 経営統合した弥彦村とともに、浄水場施設の再構築と老朽化した水道施設の更新を推進します。
- ② 計画的な下水道の整備と合併浄化槽の普及促進に努めるとともに、今後のし尿処理のあり方について検討を行います。

浄水場施設の再構築

浄水場施設再構築事業

【予算額】 26億8,258万円

【事業期間】 平成29～令和8年度

令和7年度からの供用開始を目指し、燕市と弥彦村の既存4浄水場を統合する、新たな浄水場を建設します。



- ◆ 浄水場本体工事、送配水管布設工事、浄水場等詳細設計

【担当課】 燕・弥彦総合事務組合 水道局

老朽化した水道施設の更新

老朽管路更新事業

【予算額】 9億1,380万円

【事業期間】 令和元～8年度

老朽管更新計画に基づき、老朽化した管路を漏水や地震に強い耐震性能に優れた配水管に更新します。

- ◆ 老朽管路更新工事 (L = 8.5km)

【担当課】 燕・弥彦総合事務組合 水道局

※詳細は「燕・弥彦総合事務組合 水道事業会計予算概要」を参照

下水道の整備と施設の適正管理

公共下水道の整備 (未普及対策) 事業

【予算額】 5億7,400万円

【事業期間】 令和元～10年度

燕市汚水処理施設整備構想に基づき、集合処理区域の下水道を効率的に整備します。

【担当課】 下水道課



本町排水区(合流)管路施設改築更新事業

【予算額】 7,570万円

【事業期間】 平成26～令和10年度

本町排水区での下水道管の老朽化による機能障害を防止するため、ストックマネジメント計画に基づき、幹線下水道管の改修を行います。

- ◆ 合流管渠改築更新 (L = 120m)

【担当課】 下水道課

下水終末処理場の在り方についての検討業務 (臨) 【予算額】 1,100万円

汚水処理の事業運営について、下水終末処理場の施設等の老朽化などの問題に対して「広域化・共同化」の可能性を検討します。

【担当課】 下水道課

※詳細は「燕市下水道事業会計当初予算の概要」を参照

合併浄化槽による汚水処理

合併処理浄化槽転換促進事業

(環境衛生費)

【予算額】 1,945万円 (予算書P.121)

燕市汚水処理施設整備構想に基づく個別処理区域において、単独処理浄化槽や汲み取り式トイレから合併処理浄化槽への転換

を促進するため、補助金を交付します。



- ◆ 補助内容

設置費補助 (上限額) 規模により35.2～58.8万円

単独槽撤去費補助 (上限額) 9万円

宅内配管工事費補助 (上限額) 30万円

【担当課】 生活環境課

し尿処理の在り方検討

衛生センター施設整備運営最適化推進事業

(し尿処理場運転管理費) (臨)

【予算額】 693万円 (予算書P.123)

【事業期間】 令和2～3年度

稼働から25年が経過している衛生センターについて、今後のし尿処理の在り方や包括的な民間委託など施設整備の基本方針を定めます。

【担当課】 生活環境課

①人口減少や社会状況の変化に対応した計画的な行政運営と持続可能な都市構造の構築に取り組みます。

未来を見据えたまちづくり

第3次燕市総合計画策定事業 臨

(政策調査研究費)

【予算額】201万円(予算書P.61)

【事業期間】令和3～4年度

燕市総合計画は、まちづくりの基本的な考え方である「基本理念」と燕市が目指すまちの姿「将来像」、そしてその将来像の実現に向けた政策の柱である「基本方針」を明らかにするものであり、市政運営の方向性を示す最上位計画です。

第2次燕市総合計画が令和4年度に終期を迎えるため、令和3年度からの2カ年で、第3次燕市総合計画(令和5年度～)を策定します。

◆令和3年度

既存施策の評価検証、人口推計の実施

【担当課】企画財政課

第3次燕市総合計画

令和5年度～

第2次燕市総合計画

平成28年度～令和4年度

燕市総合計画

平成20年度～平成27年度

建物系公共施設保有量適正化事業

【53ページ参照】 【担当課】用地管財課

まちづくりマスタープラン策定事業 臨

【予算額】1,545万円(予算書P.161)

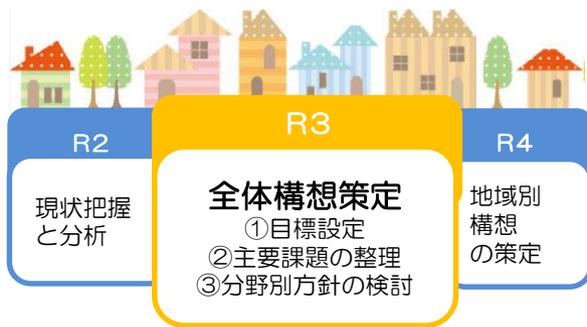
【事業期間】令和2～4年度

人口減少や社会状況の変化と共に、国・県のインフラ整備や産業分野などでの新たなニーズの高まりがあることから、未来を見据えたまちづくりの方向性を描き直すため、現状把握から分かった課題に対して方針を検討していきます。

◆令和3年度

策定委員会の開催、全体構想の策定

【担当課】都市計画課



中心市街地再生モデル事業 新

【再掲49ページ参照】

【担当課】都市計画課



国道116号吉田バイパス整備促進事業

(都市計画総務費)

【予算額】10万円(予算書P.159)

商工団体や土地改良区、自治会など各種団体と連携し、官民一体で早期完成に向けて国・県に強く要望していきます。

【担当課】都市計画課



新規バス路線導入事業 臨

(公共交通運行事業)

【再掲47ページ参照】

【担当課】都市計画課



生産拠点整備補助制度の新設 新

(企業立地活性化事業)

【再掲27ページ参照】 【担当課】商工振興課

全天候型子ども遊戯施設整備事業 新

【再掲33ページ参照】

【担当課】子育て支援課



- ①デジタル技術を活用し、市民の利便性向上や市役所業務の効率化を図ります。
- ②市民サービスを持続的に提供するため、市有財産を総合的に管理し、有効活用を図ります。

市民サービスのデジタル化

コンビニ交付サービスの導入準備 新
(情報システム管理費)
【予算額】 7万円 (予算書P.67)

全国のコンビニで、マイナンバーカードを利用した各種証明書の取得ができるサービスを導入します。 ◆運用開始：令和4年度中
【担当課】 総務課・市民課

キャッシュレス決済の導入 (収納経費) 新
【予算額】 7万円 (予算書P.71)

市税の納付方法について、市民の利便性向上を図るため、既存のコンビニ納付に加えてスマホアプリによるキャッシュレス決済を導入します。



【担当課】 収納課

オンライン申請の推進 新
(情報システム管理費)
【予算額】 114万円 (予算書P.67)

汎用的電子システムを導入し、オンラインで提出可能な行政手続きを増やします。併せて内部事務手続きについても、デジタル化を進めます。
【担当課】 総務課

公式LINEの機能強化 拡
(広報広聴費)

【予算額】 238万円 (予算書P.61)

公式LINEのチャットボット機能を活用し、よくある質問の自動応答や、シナリオ配信機能を活用した「ごみ収集日」の地区別配信などを行います。

【担当課】 広報秘書課

オンライン職員採用試験の実施 拡
(人事厚生研修費)

【予算額】 294万円 (予算書P.53)

オンラインで受験できる筆記試験や面接試験を実施するほか、オンラインによる採用ガイダンスやインターンシップを行います。

【担当課】 総務課

業務効率化の推進

RPAを活用した働き方改革
(情報システム管理費)

【予算額】 370万円 (予算書P.67)

令和2年度に導入したRPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)を活用し、定型的なパソコン操作をソフトウェアにより自動化する業務を拡大します。
【担当課】 総務課

公的資産のマネジメント

建物系公共施設保有量適正化事業
【予算額】 ゼロ予算

燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、人口減少時代に即した施設保有量の適正化を進めます。令和3年度は、「西燕公民館」「松長公民館」「教育センター」の個別施設計画を策定します。 【担当課】 用地管財課

燕北小学校駐車場整備事業 新
【予算額】 312万円 (予算書P.185)

燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、令和元年度に閉園した燕北幼稚園舎を解体し、燕北小学校の駐車場として整備します。

◆令和3年度は設計業務
【担当課】 学校教育課

道の駅「国上」関連施設の指定管理者選定方法見直し検討 臨
【予算額】 ゼロ予算

令和3年度末に現指定管理期間の満了を迎えることから、公募・非公募の適用の見直しを検討します。



【担当課】 観光振興課、企画財政課